人権に関する村民意識調査

結 果 報 告 書

2019（令和元）年 8月 調査

名東郡佐那河内村

はじめに

２１世紀は「人権の世紀」と言われ、すべての人々の人権が尊重される、真に豊かで平和な社会の実現は、私たちみんなの願いです。

本村においても、「佐那河内村総合計画」の基本構想における、むらづくりの目標の一つとして掲げ、人権を大切にする社会づくりや平和を大切にする社会づくりの推進により、基本的人権を尊重する社会の確立に努めることとしております。

また、平成２１年９月には「佐那河内村人権条例」を策定施行し、「人権の里佐那河内」として、人権教育・啓発を総合的に推進して参りましたが、これまでの人権施策の検証を行うとともに、今後、更なる効果的な施策を検討・立案していくための基礎資料とするため、令和元年８月「人権に関する村民意識調査」を実施し、この度、その結果を報告書として取りまとめたものです。

今回の調査結果を踏まえ、人権を大切にする社会づくりに反映していくとともに、人権課題の解決に向けて幅広い取組を推進して参りたいと考えております。

最後になりましたが、この調査の実施に当たり、ご協力いただきました村民の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和元年１２月

佐那河内村長　岩 城　福 治

目　　次

頁数

Ⅰ 調査の概要…… 4
1 調査の目的
2 調査方法
3 回収結果

Ⅱ 調査結果…… 5
1 回答者の属性…… 5
（1）性別
（2）年齢
（3）職業

2 人権意識…… 6-11
（1）人権への親近感…… 6
（2）人権に関する考え…… 7-9
（3）関心のある人権問題……10-11

3 人権侵害……
（1）人権侵害経験の有無 …… 12
（2）受けた人権侵害の態様 ……13-14
（3）人権侵害を受けたときの対応……15-16

4 個別の人権問題……17-52
（1）同和問題……17-29
（2）女性の人権……30-33
（3）子どもの人権……34-37
（4）高齢者の人権……38-41
（5）障がいのある人の人権……44-45
（6）外国人の人権……46-48
（7）インターネットによる人権侵害 ……49-52

5 人権尊重社会実現への取組……53-66
（1） 講演会・研修会に関する意識……53-59
（2） 効果的な人権啓発広報活動……60-62
（3） 人権擁護委員制度の認知度……63-64
（4） 心がけるべき行動……65-66

6 人権問題に関する自由意見……67-69

《巻末》参考資料 意識調査票

Ⅰ　調 査 の 概 要

１．調査の目的

この調査は、村民の人権問題に関する意識等を把握し、これからの人権尊重を基本としたむらづくり施策を推進していく上での基礎資料とすることを目的とする。

２．調査方法

（1）　調査対象 佐那河内村在住の満１６歳以上の男女

（2）　対象者数 ３５０人

（3）　抽出方法 令和元年８月１日の住民基本台帳より単純無作為抽出

（4）　調査期間 令和 元年 ８月

（5）　調査方法 郵送による配布及び回収

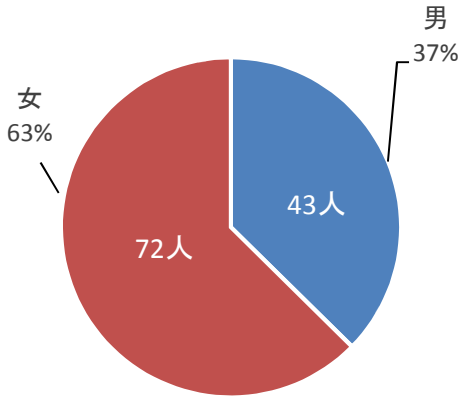
３．回収結果

	配布数	回収数	回収率
令和元年	350	115	32.86%

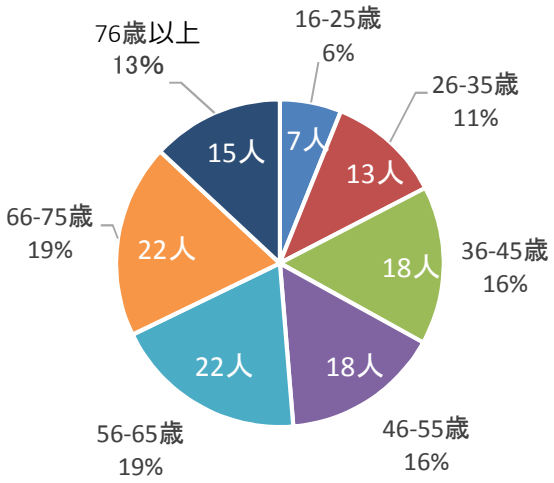
Ⅱ　調査結果　※四捨五入により、合計割合が100.0%にならない項目があります。

1　回答者の属性

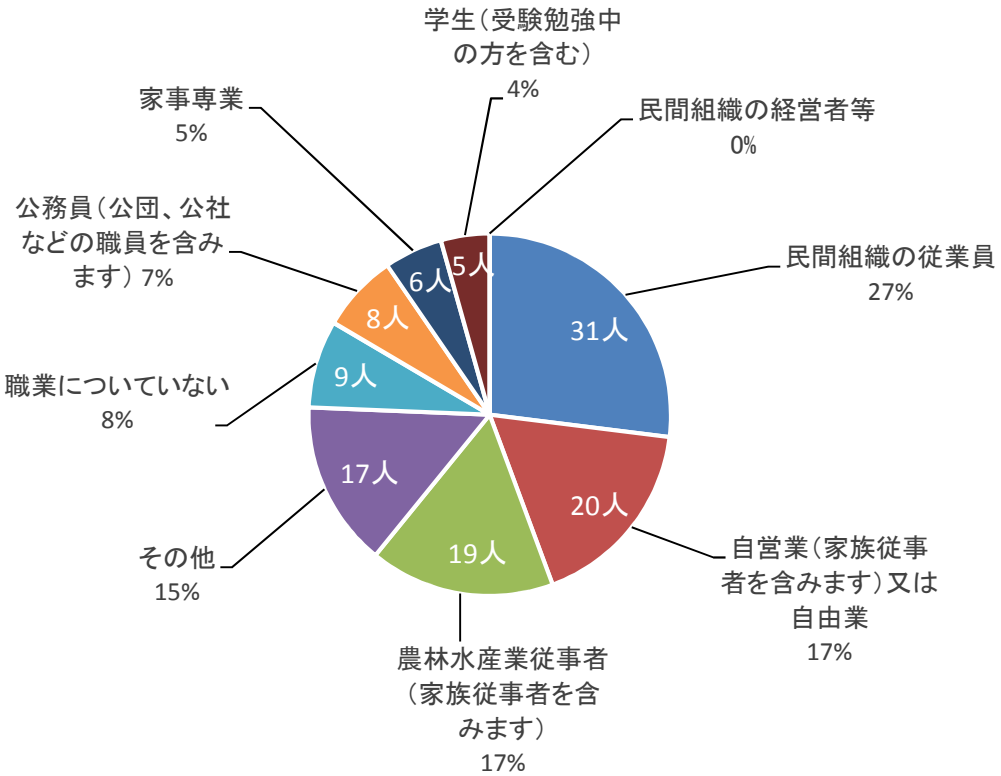
（1）　性別



（2）　年齢



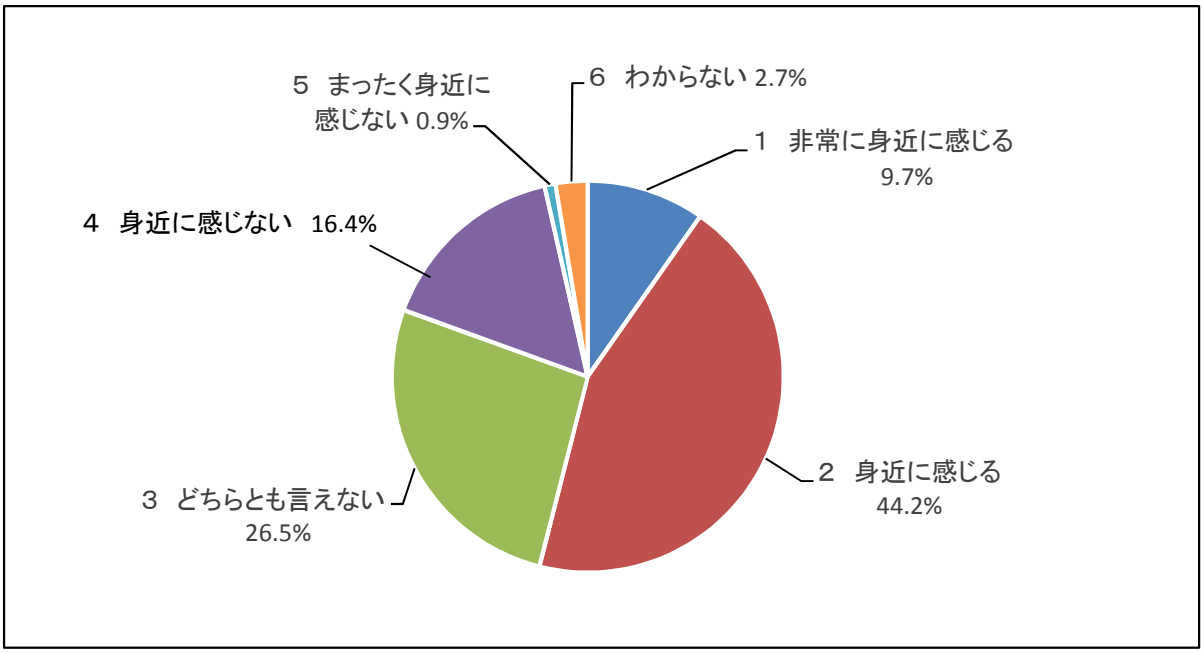
（3）　職業



２　人権意識

（１）　人権への親近感

問１　人権を身近なものと感じていますか。（○は２つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
１　非常に身近に感じる	4.7%	12.9%
２　身近に感じる	46.5%	42.9%
３　どちらとも言えない	18.6%	31.4%
４　身近に感じない	25.6%	10.0%
５　まったく身近に感じない	2.3%	0.0%
６　わからない	2.3%	2.9%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	7.7%	11.1%	5.6%	23.8%	4.5%	7.1%
2	71.4%	15.4%	38.9%	44.4%	33.3%	54.5%	64.3%
3	14.3%	46.2%	27.8%	27.8%	28.6%	22.7%	14.3%
4	14.3%	30.8%	5.6%	22.2%	14.3%	18.2%	7.1%
5	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%

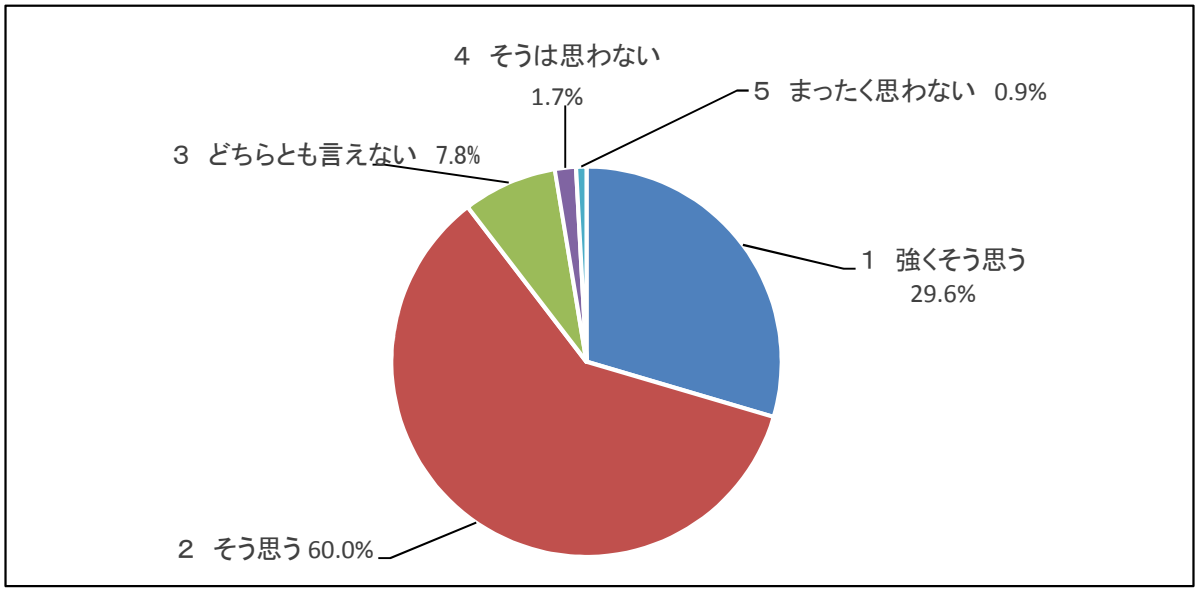
「問１　人権を身近なものと感じていますか。（○は２つだけ）」については、「２　身近に感じる」が 44.2%、「１　非常に身近に感じる」が 9.7%で、これらを合わせると、身近に感じている人が 53.9% となっている。一方、「４　身近に感じない」が 16.4%、「５　まったく身近に感じない」が 0.9%で、これらを合わせると、身近に感じない人が 17.3% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　身近に感じない」（男性：25.6%、女性：10.0%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　どちらとも言えない」（男性：18.6%、女性：31.4%）となっている。

年齢別でみると、ほとんどの年代で、「１　非常に身近に感じる」「２　身近に感じる」がほぼ過半数となっている。一方、26-35歳では、あわせて 23.1% と比較的少なくなっている。

（２）　人権に関する考え

問２－１　人権は、自分自身も含むすべての村民の問題だと思いますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
１　強くそう思う	25.6%	31.9%
２　そう思う	58.1%	61.1%
３　どちらとも言えない	14.0%	4.2%
４　そうは思わない	2.3%	1.4%
５　まったく思わない	0.0%	1.4%

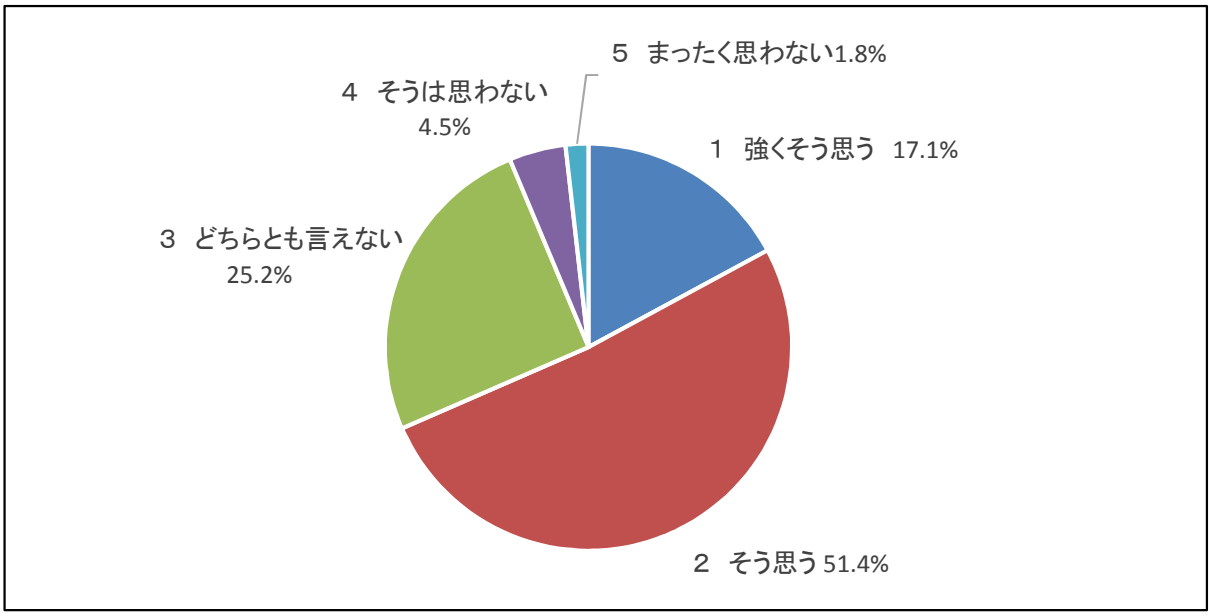
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	57.1%	30.8%	50.0%	11.1%	31.8%	9.1%	40.0%
2	42.9%	61.5%	27.8%	83.3%	59.1%	81.8%	46.7%
3	0.0%	7.7%	11.1%	5.6%	9.1%	9.1%	6.7%
4	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%

「問２－１　人権は、自分自身も含むすべての村民の問題である。（○は１つだけ）」については、「２　そう思う」が 60.0%、「１　強くそう思う」が 29.6%で、これらを合わせると、人権問題について当事者意識を持っている人が 89.6% となっている。一方、「４　そうは思わない」が 1.7%、「５　まったく思わない」が 0.9%で、これらを合わせると、人権問題について当事者意識を持っていない人が 2.6% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　どちらとも言えない」（男性：14.0%、女性：4.2%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　強くそう思う」（男性：25.6%、女性：31.9%）となっている。

年齢別でみると、全年代で「1　強くそう思う」「2　そう思う」が圧倒的多数となっている。一方、「４　そうは思わない」が、36-45歳で 11.1% 、「５　まったく思わない」が、76歳以上で 6.7% となっている。

問２－２　自分の権利ばかりを主張して、他人の人権を考えない人が増えてきていると思いますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
１　強くそう思う	11.6%	20.6%
２　そう思う	55.8%	48.5%
３　どちらとも言えない	30.2%	22.1%
４　そうは思わない	0.0%	7.4%
５　まったく思わない	2.3%	1.5%

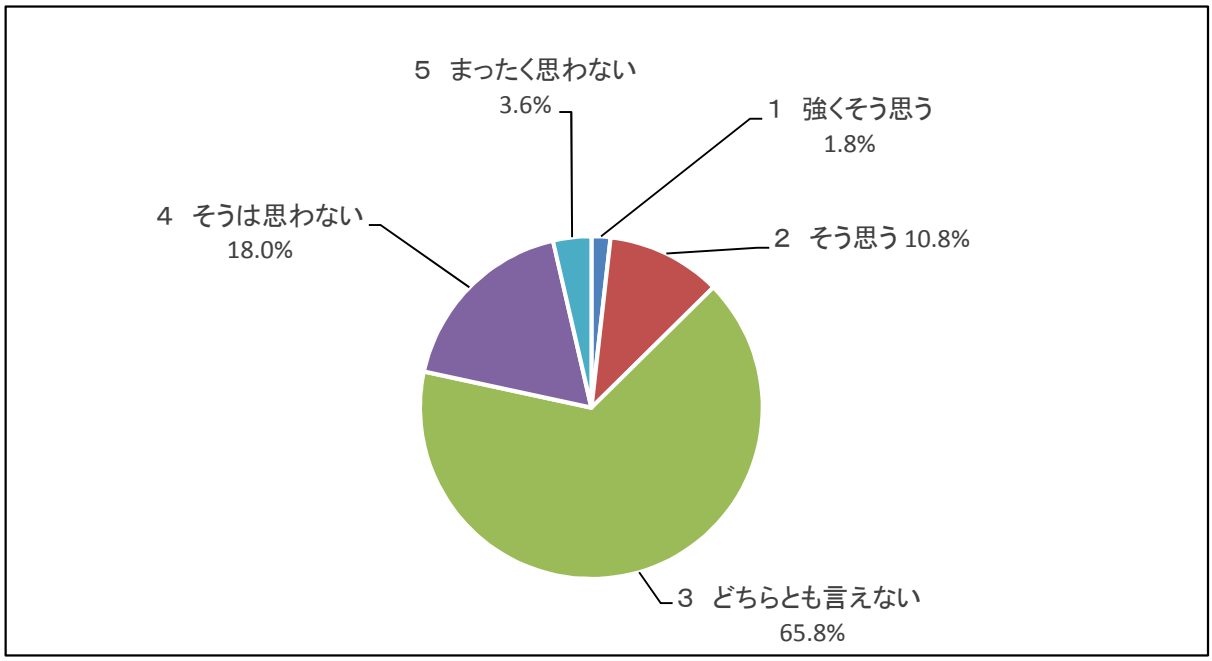
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	28.6%	16.4%	11.8%	16.7%	22.7%	19.0%	7.7%
2	57.1%	30.8%	58.8%	66.7%	40.9%	52.4%	53.8%
3	14.3%	45.2%	23.5%	5.6%	36.4%	28.6%	15.4%
4	0.0%	7.7%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	15.4%
5	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%

「問２－２　自分の権利ばかりを主張して、他人の人権を考えない人が増えてきていると思いますか。（○は１つだけ）」については、「２　そう思う」が 51.4%、「１　強くそう思う」が 17.1%で、これらを合わせると、自分の権利ばかり主張する人が増えてきていると感じている人が 68.5% となっている。一方、「４　そうは思わない」が 4.5%、「５　まったく思わない」が 1.8%で、これらを合わせると、自分の権利ばかり主張する人が増えてきていると感じていない人が 6.3% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　どちらとも言えない」（男性：30.2%、女性：22.1%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　強くそう思う」（男性：11.6%、女性：20.6%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　強くそう思う」「２　そう思う」が過半数となっている。

問２－３　ここ数年で、村民の人権への関心は高くなってきていると思いますか。（○は１つだけ）（単位：%）



選択肢	男	女
１　強くそう思う	2.3%	1.5%
２　そう思う	9.3%	11.8%
３　どちらとも言えない	74.4%	60.3%
４　そうは思わない	11.6%	22.1%
５　まったく思わない	2.3%	4.4%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.8%	0.0%
2	0.0%	0.0%	5.9%	5.6%	9.1%	14.3%	38.5%
3	85.7%	53.8%	70.6%	77.8%	72.7%	61.9%	38.5%
4	14.3%	46.2%	17.6%	16.7%	13.6%	14.3%	7.7%
5	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	4.8%	15.4%

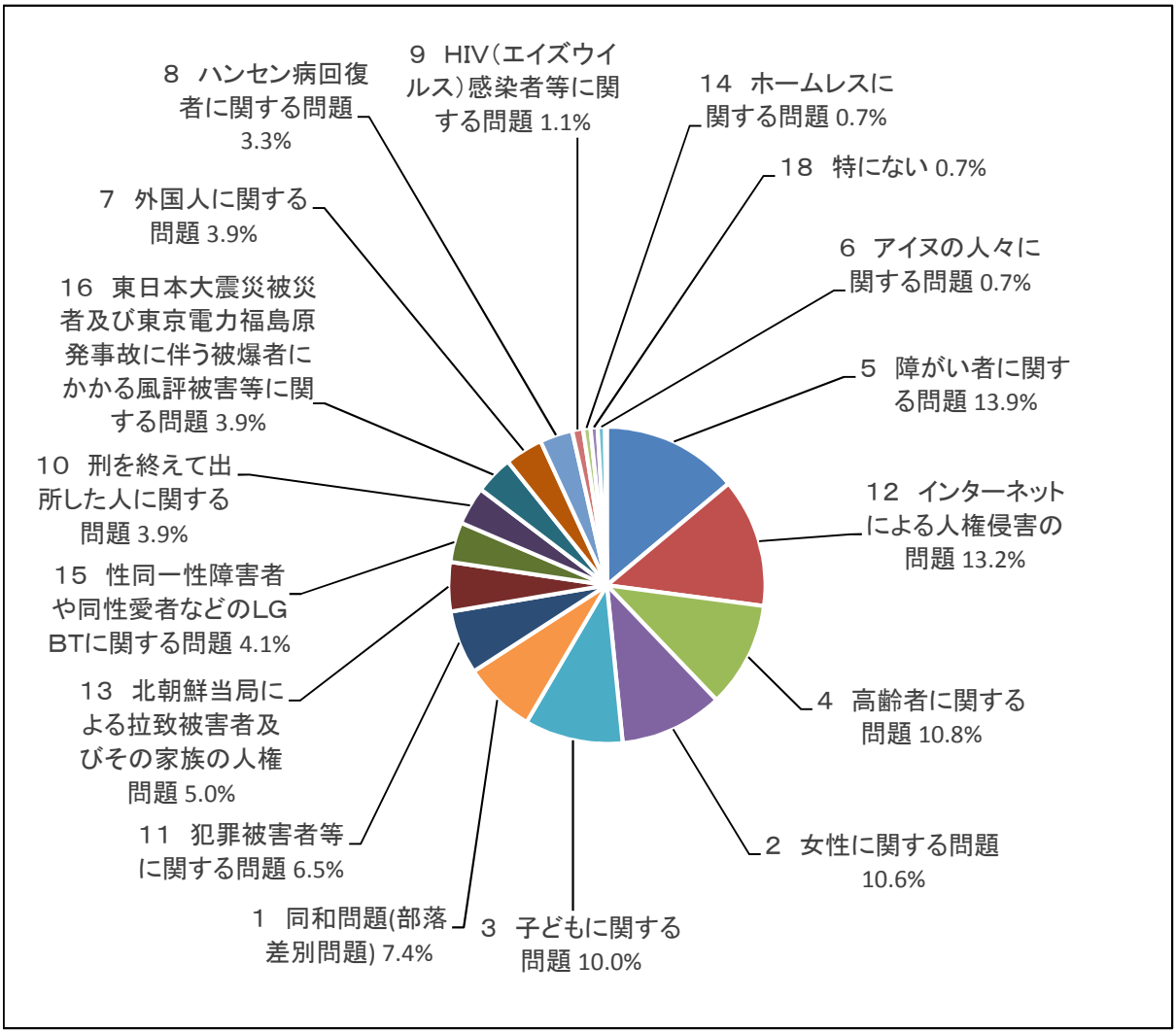
「問２－３　ここ数年で、村民の人権への関心は高くなってきていると思いますか。（○は１つだけ）」については、「２　そう思う」が 10.8%、「１　強くそう思う」が 1.8%で、これらを合わせると、村民の人権意識が高まっていると感じる人が 12.6% となっている。一方、「４　そうは思わない」が 18.0%、「５　まったく思わない」が 3.6%で、これらを合わせると、村民の人権意識が高まっているとは感じない人が 21.6% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　どちらとも言えない」（男性：74.4%、女性：60.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　そうは思わない」（男性：11.6%、女性：22.1%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「３　どちらとも言えない」が最多数となっている。一方、26-35歳では、「４　そうは思わない」が 46.2% となっており、76歳以上では、「２　そう思う」が 38.5% となっている。

（３）　関心のある人権問題

問３　人権に関する問題について、特に関心のあるものはどれですか。（○を5つつけてください。）（単位：％）



選択肢	男	女
１　同和問題（部落差別問題）	8.6%	6.7%
２　女性に関する問題	8.1%	12.0%
３　子どもに関する問題	11.6%	9.1%
４　高齢者に関する問題	12.1%	10.0%
５　障がい者に関する問題	14.6%	13.5%
６　アイヌの人々に関する問題	0.0%	1.2%
７　外国人に関する問題	4.5%	3.5%
８　ハンセン病回復者に関する問題	3.0%	3.5%
９　ＨＩＶ（エイズ）感染者等に関する問題	1.0%	1.2%
１０　刑を終えて出所した人に関する問題	5.1%	3.2%
１１　犯罪被害者等に関する問題	8.6%	5.3%
１２　インターネットによる人権侵害の問題	12.6%	13.5%
１３　北朝鮮当局による拉致被害者及びその家族の人権問題	3.5%	5.9%
１４　ホームレスに関する問題	1.0%	0.6%
１５　性同一性障害者や同性愛者などのＬＧＢＴに関する問題	1.5%	5.6%
１６　東日本大震災被災者及び原発事故に伴う被爆者にかかる風評被害等に関する問題	3.0%	4.4%
１７　その他	0.0%	0.3%
１８　特にない	1.0%	0.6%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	6.5%	6.7%	5.7%	5.9%	8.2%	7.9%	10.8%
2	12.9%	13.3%	10.3%	11.8%	11.8%	8.9%	6.2%
3	6.5%	8.3%	12.6%	11.8%	12.7%	6.9%	7.7%
4	9.7%	3.3%	10.3%	8.2%	12.7%	15.8%	10.8%
5	16.1%	11.7%	16.1%	11.8%	16.4%	13.9%	10.8%
6	3.2%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.0%	1.5%
7	9.7%	5.0%	5.7%	2.4%	2.7%	3.0%	3.1%
8	3.2%	1.7%	1.1%	3.5%	2.7%	5.0%	6.2%
9	0.0%	3.3%	0.0%	1.2%	1.8%	1.0%	0.0%
10	0.0%	5.0%	2.3%	5.9%	1.8%	3.0%	9.2%
11	3.2%	5.0%	4.6%	9.4%	5.5%	6.9%	9.2%
12	12.9%	16.7%	17.2%	17.6%	12.7%	7.9%	7.7%
13	3.2%	0.0%	3.4%	2.4%	2.7%	11.9%	9.2%
14	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.5%
15	9.7%	10.0%	4.6%	4.7%	3.6%	0.0%	1.5%
16	3.2%	6.7%	2.3%	1.2%	4.5%	5.9%	3.1%
17	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18	0.0%	0.0%	2.3%	1.2%	0.0%	0.0%	1.5%

「問３　人権に関する問題について、特に関心のあるものはどれですか。　（○を５つつけてください。）」については、「５　障がい者に関する問題」が 13.9%、「１２　インターネットによる人権侵害の問題」が 13.2%、「４　高齢者に関する問題」が 10.8%、「２　女性に関する問題」が 10.6%、「３　子どもに関する問題」が 10.0%で、これらを合わせると、いわゆる社会的弱者と呼ばれる立場の方の人権に関心がある人が、58.5% となっている。

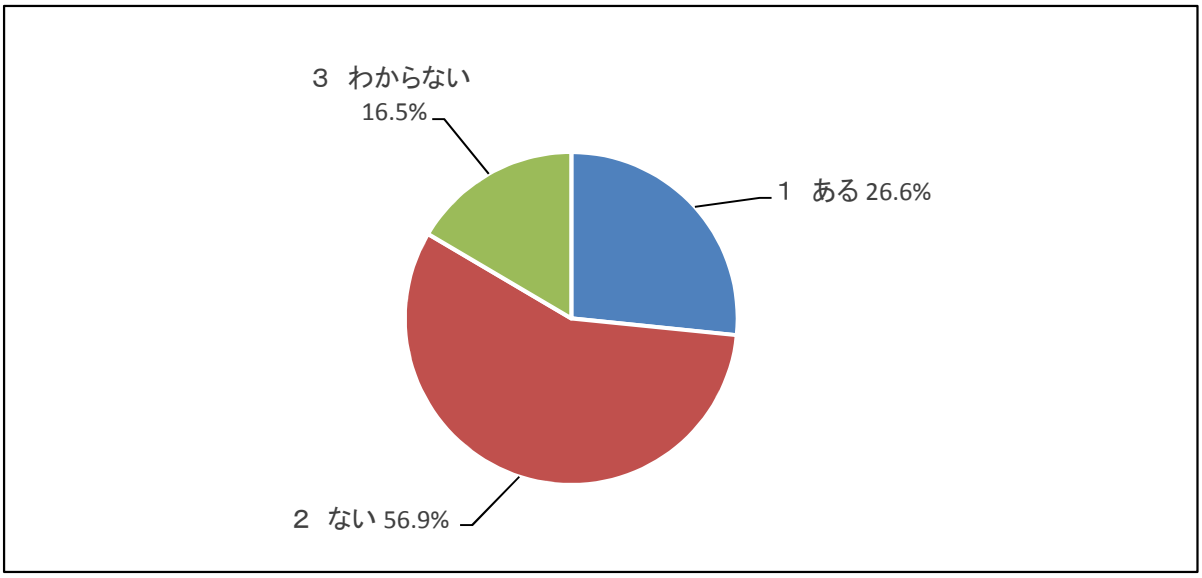
性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１１　犯罪被害者等に関する問題」（男性：8.6%、女性：5.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１５　性同一性障害者や同性愛者などのＬＧＢＴに関する問題」（男性：1.5%、女性：5.6%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「５　障がい者の人権問題」は、10%以上となっている。65歳以下で、「１２　インターネットによる人権の問題」「２　女性に関する問題」が10%以上となっている。56歳以上で、「４　高齢者に関する問題」が10%以上となっている。36-65歳で、「３　子どもに関する問題」が10%以上になっている。

３　人権侵害

（１）人権侵害経験の有無

問４－１　今までに自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
１　ある	12.5%	34.8%
２　ない	67.5%	49.3%
３　わからない	20.0%	15.9%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	38.5%	29.4%	11.8%	36.4%	28.6%	23.1%
2	50.0%	30.8%	47.1%	76.5%	50.0%	61.9%	69.2%
3	50.0%	30.8%	23.5%	11.8%	13.6%	9.5%	7.7%

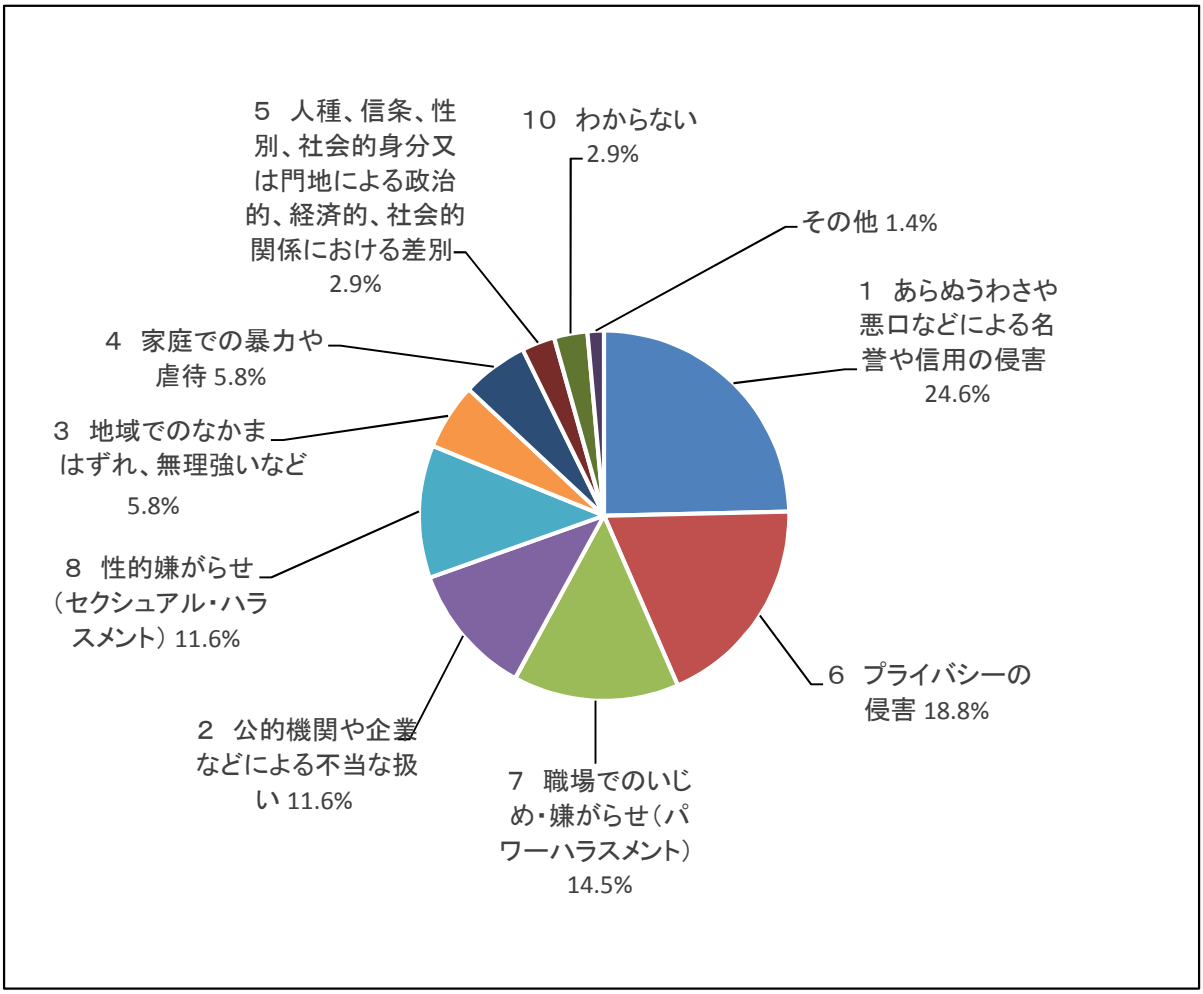
「問４－１　今までに自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は１つだけ）」については、「１　ある」 が 26.6%で、約４人に１人が人権侵害の被害を自覚している。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　ない」（男性：67.5%、女性：49.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　ある」（男性：12.5%、女性：34.8%）となっている。

年齢別にみると、ほとんどの世代で、「２　ない」が最多数となっている。一方、26-35歳では、「１　ある」が最多数となっている。

（２）受けた人権侵害の態様

問４－２　今までに自分の人権がどのようなことで侵害されたと思いましたか。（○はいくつでも）（単位：％）



選択肢	男	女
１　あらぬうわさや悪口による名誉や信用の侵害	14.3%	25.8%
２　公的機関や企業などによる不当な扱い	28.6%	9.7%
３　地域でのなかまはずれ、無理強いなど	0.0%	6.5%
４　家庭での暴力や虐待	0.0%	6.5%
５　人種、信条、性別、社会的身分又は門地による政治的、経済的、社会的関係における差別	0.0%	3.2%
６　プライバシーの侵害	14.3%	19.4%
７　職場でのいじめ・嫌がらせ（パワハラ）	28.6%	12.9%
８　性的嫌がらせ（セクハラ）	14.3%	11.3%
９　その他	0.0%	1.6%
１０　わからない	0.0%	3.2%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	21.4%	13.3%	0.0%	33.3%	30.8%	40.0%
2	0.0%	14.3%	13.3%	0.0%	16.7%	0.0%	20.0%
3	0.0%	7.1%	13.3%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
4	0.0%	7.1%	6.7%	25.0%	0.0%	7.7%	0.0%
5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	7.7%	0.0%
6	0.0%	21.4%	6.7%	25.0%	22.2%	30.8%	0.0%
7	0.0%	7.1%	26.7%	25.0%	11.1%	15.4%	0.0%
8	0.0%	21.4%	13.3%	25.0%	5.6%	7.7%	0.0%
9	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%

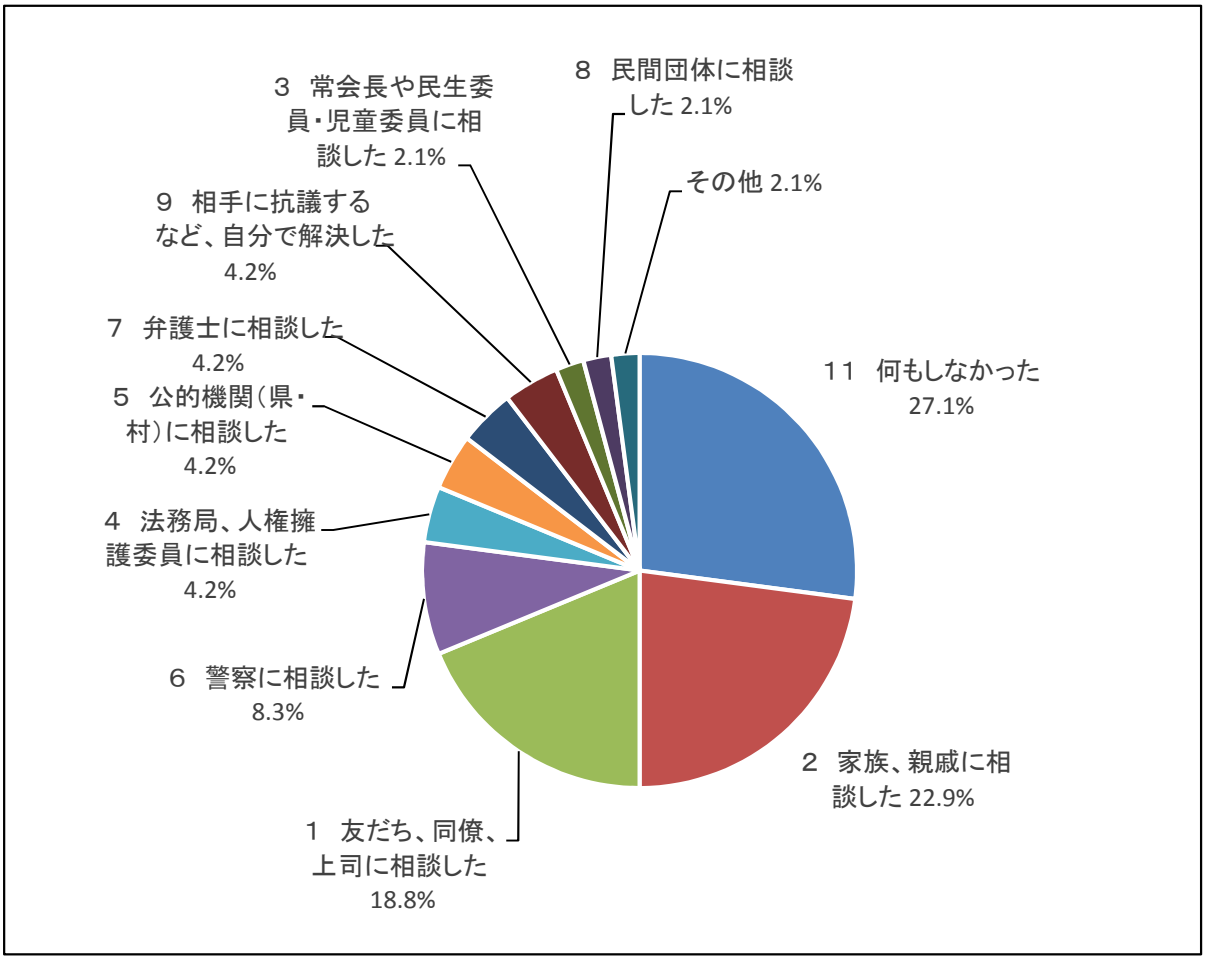
「問４－２　今までに自分の人権がどのようなことで侵害されたと思いましたか。（○はいくつでも）」については、「１　あらぬうわさや悪口などによる名誉や信用の侵害」が 24.6%と最も多く、次いで「６　プライバシーの侵害」 が 18.8%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　公的機関や企業などによる不当な扱い」（男性：28.6%、女性：9.7%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　あらぬうわさや悪口などによる名誉や信用の侵害」（男性：14.3%、女性：25.8%）となっている。

年齢別にみると、多くの年代で「１　あらぬうわさや悪口などによる名誉や信用の侵害」「６　プライバシーの侵害」が最多数となっている。一方、36-55歳では、「７　職場でのいじめ・嫌がらせ（パワーハラスメント）」が最多数となっている。

（３）人権侵害を受けたときの対応

問４－３　今までに自分の人権が侵害されたと思ったときに、どのように対応しましたか。（○はいくつでも）（複数回答、単位：％）



選択肢	男	女
１　友だち、同僚、上司に相談した	33.3%	16.7%
２　家族、親戚に相談した	33.3%	21.4%
３　常会長や民生委員・児童委員に相談した	0.0%	2.4%
４　法務局、人権擁護委員に相談した	0.0%	4.8%
５　公的機関（県・村）に相談した	0.0%	4.8%
６　警察に相談した	0.0%	9.5%
７　弁護士に相談した	0.0%	4.8%
８　民間団体に相談した	0.0%	2.4%
９　相手に抗議するなど、自分で解決した	0.0%	4.8%
１０　その他	0.0%	2.4%
１１　何もしなかった	33.3%	26.2%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	14.3%	18.2%	33.3%	16.7%	30.0%	0.0%
2	0.0%	14.3%	27.3%	33.3%	16.7%	30.0%	20.0%
3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
4	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
5	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
6	0.0%	28.6%	9.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
7	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
8	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
11	0.0%	14.3%	18.2%	33.3%	33.3%	10.0%	80.0%

「問４－３　今までに自分の人権が侵害されたと思ったときに、どのように対応しましたか。（○はいくつでも）」については、「１１　何もしなかった」が 27.1%と、約４人に１人の割合となっている。一方、「２　家族、親戚に相談した」が 22.9%、「１　友だち、同僚、上司に相談した」が 18.8%で、これらを合わせると、身近な人への相談が 41.7% となっている。

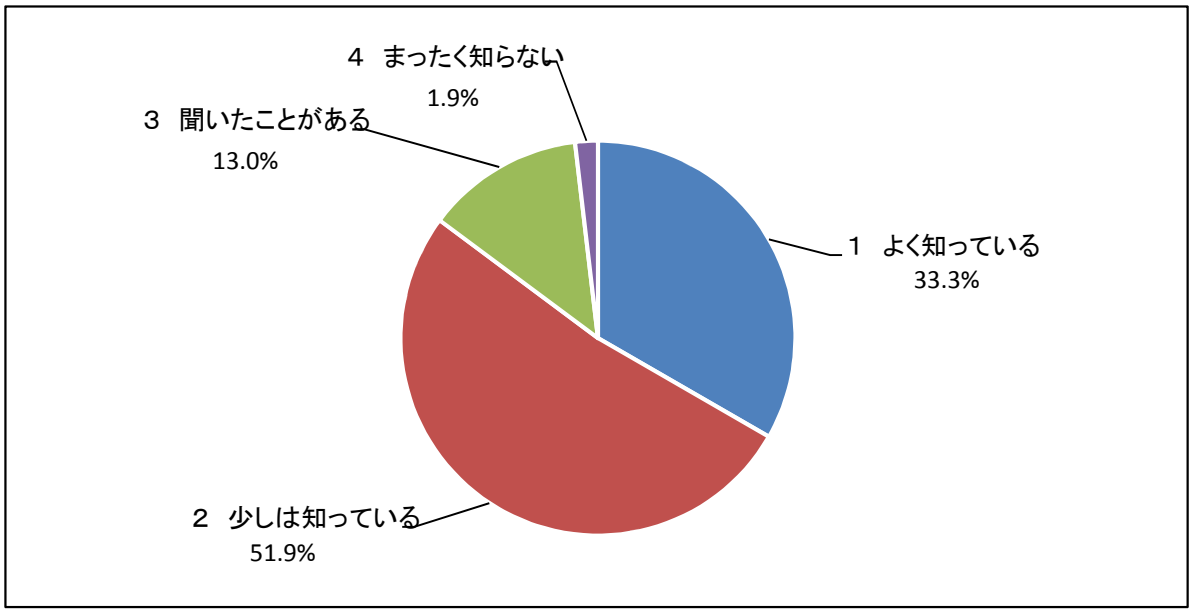
性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　友だち、同僚、上司に相談した」（男性：33.3%、女性：16.7%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「６　警察に相談した」（男性：0.0%、女性：9.5%）となっている。

年齢別にみると、回答のあったほとんどの世代で「相談した」が多数となっている。また、「相談した」のなかでは、「２　家族、親戚に相談した」「１　友だち、同僚、上司に相談した」が多数となっている。一方、76歳以上では、「１１　何もしなかった」が圧倒的多数となっている。

４　個別の人権問題

（１）同和問題

問５－１　「同和問題あるいは部落差別問題」と言われる人権問題を知っていますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
1　よく知っている	34.1%	32.8%
2　少しは知っている	46.3%	55.2%
3　聞いたことがある	19.5%	9.0%
4　まったく知らない	0.0%	3.0%

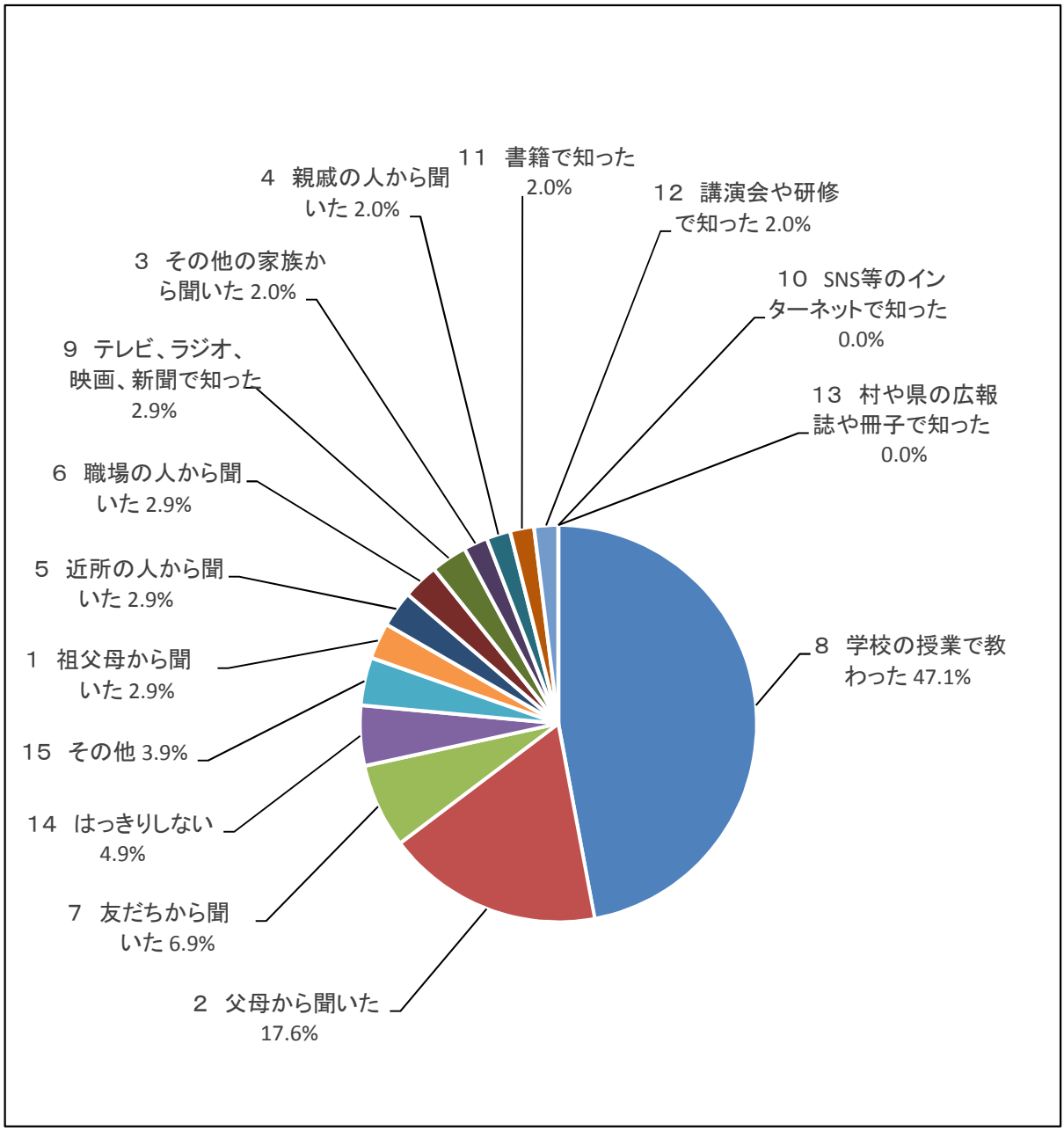
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	33.3%	23.1%	20.0%	41.2%	27.3%	52.4%	28.6%
2	50.0%	61.5%	60.0%	52.9%	59.1%	38.1%	42.9%
3	16.7%	15.4%	20.0%	5.9%	13.6%	4.8%	21.4%
4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	7.1%

「問５－１　「同和問題あるいは部落差別問題」と言われる人権問題を知っていますか。（○は１つだけ）」については、「２　少しは知っている」が 51.9%、「１　よく知っている」が 33.3%、「３　聞いたことがある」が 13.0%で、これらを合わせると、「知っている」が 98.2% となっている。一方、「４　まったく知らない」が 1.9% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　聞いたことがある」（男性：19.5%、女性：9.0%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　少しは知っている」（男性：46.3%、女性：55.2%）となっている。

年齢別にみると、すべての世代で、「１　よく知っている」「２　少しは知っている」を合わせた「知っている」という意見が圧倒的多数となっている。一方、66歳以上では「４　まったく知らない」は5%前後の割合となっている。

問５－２　「同和問題あるいは部落差別問題」と言われる人権問題を知っている人は、どのようなきっかけで知りましたか。（○は１つだけ）（単位：%）



選択肢	男	女
１　祖父母から聞いた	2.2%	3.3%
２　父母から聞いた	17.4%	16.7%
３　その他の家族から聞いた	2.2%	1.7%
４　親戚の人から聞いた	2.2%	1.7%
５　近所の人から聞いた	10.9%	3.3%
６　職場の人から聞いた	4.3%	1.7%
７　友だちから聞いた	8.7%	5.0%
８　学校の授業で教わった	34.8%	53.3%
９　テレビ、ラジオ、映画、新聞で知った	4.3%	1.7%
１０　ＳＮＳ等のインターネットで知った	0.0%	0.0%
１１　書籍で知った	2.2%	1.7%
１２　講演会や研修で知った	4.3%	0.0%
１３　村や県の広報誌や冊子で知った	0.0%	0.0%
１４　はっきりしない	4.3%	5.0%
１５　その他	2.2%	5.0%

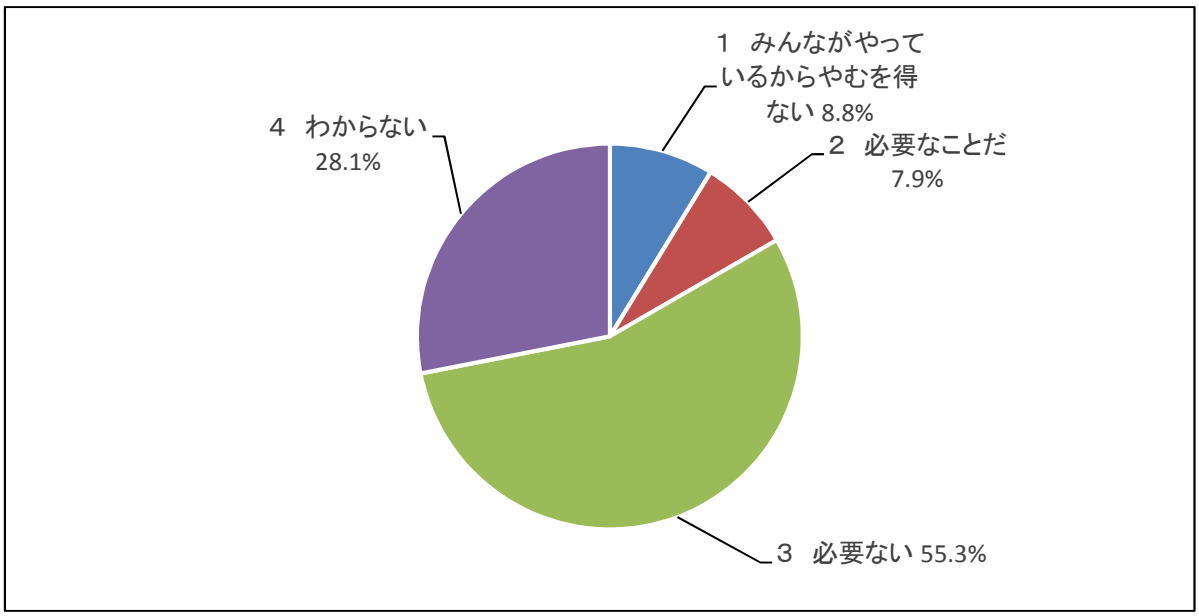
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	6.7%
2	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	22.7%	33.3%	26.7%
3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	6.7%
4	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	4.2%	0.0%
5	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%	6.7%
6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	6.7%
7	0.0%	0.0%	8.3%	6.7%	18.2%	0.0%	6.7%
8	100.0%	81.8%	66.7%	80.0%	31.8%	12.5%	13.3%
9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	8.3%	0.0%
10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%
12	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	6.7%
13	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	4.2%	13.3%
15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	6.7%

「問　５－２　「同和問題あるいは部落差別問題」と言われる人権問題を知っている人は、どのようなきっかけで知りましたか。（○は１つだけ）」については、「８　学校の授業で教わった」 が 47.1%と最も多く、次いで「２　父母から聞いた」 が 17.6%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「５　近所の人から聞いた」（男性：10.9%、女性：3.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「８　学校の授業で教わった」（男性：34.8%、女性：53.3%）となっている。

年齢別でみると、16歳-65歳では、「８　学校の授業で教わった」が最多数となっている。一方、66歳以上では、「２　父母から聞いた」が最多数となっている。

問６　結婚や就職などで同和地区と呼ばれる地域出身の人かどうかの身元調査を行うことについてどう思いますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
１　みんながやっているからやむを得ない	14.0%	5.6%
２　必要なことだ	9.3%	7.0%
３　必要ない	48.8%	59.2%
４　わからない	27.9%	28.2%

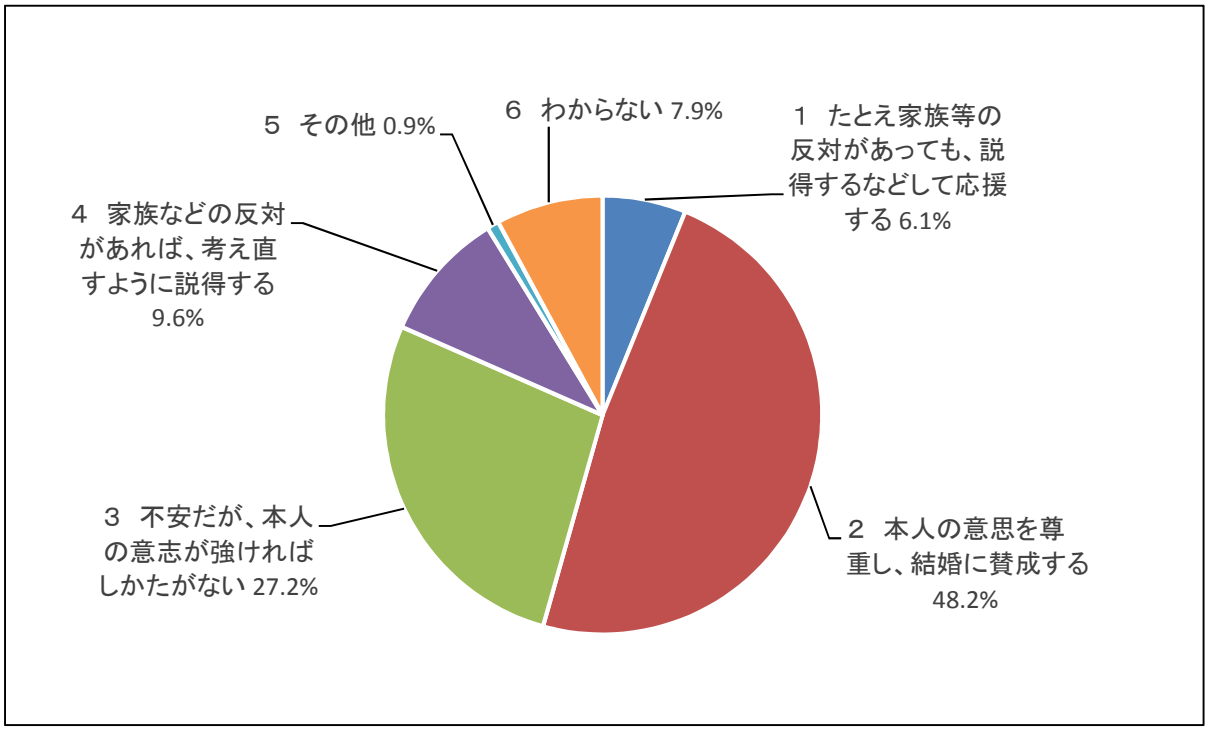
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	18.2%	9.1%	0.0%
2	0.0%	7.7%	0.0%	16.7%	0.0%	18.2%	6.7%
3	100.0%	69.2%	64.7%	38.9%	50.0%	54.5%	40.0%
4	0.0%	23.1%	35.3%	22.2%	31.8%	18.2%	53.3%

「問６　結婚や就職などで同和地区と呼ばれる地域出身の人かどうかの身元調査を行うことについてどう思いますか。（○は１つだけ）」については、「３　必要ない」が 55.3%となっている。一方、「１　みんながやっているからやむを得ない」が 8.8%、「２　必要なことだ」が 7.9%で、これらを合わせると、肯定が 16.7%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　みんながやっているからやむを得ない」（男性：14.0%、女性：5.6%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　必要ない」（男性：48.8%、女性：59.2%）となっている。

年齢別でみると、全年代で「３　必要ない」が多数となっている。一方、46-75歳では、「１　みんながやっているからやむを得ない」「２　必要なことだ」も一定の割合となっている。

問７－１　あなたの家族が結婚しようとする相手が、同和地区と呼ばれる地域出身の人とわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
１　家族や親戚の反対があっても、反対する人を説得するなどして、結婚できるように応援すると思う	4.5%	7.0%
２　本人の意思を尊重し、結婚に賛成すると思う	45.5%	49.3%
３　不安であるが、本人の意思が強ければしかたがないと思う	34.1%	22.5%
４　家族や親戚の反対があれば、結婚を考え直すように説得すると思う	6.8%	11.3%
５　その他	2.3%	1.4%
６　わからない	6.8%	8.5%

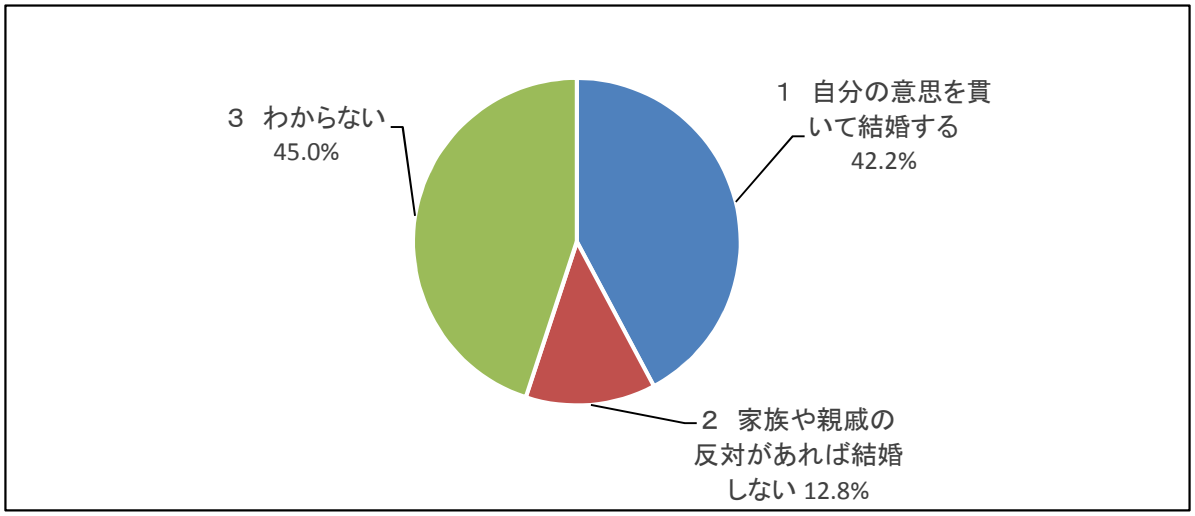
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	14.3%	23.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	6.7%
2	57.1%	53.8%	66.7%	38.9%	40.9%	45.5%	40.0%
3	14.3%	7.7%	16.7%	27.8%	36.4%	31.8%	40.0%
4	0.0%	7.7%	5.6%	16.7%	13.6%	13.6%	0.0%
5	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	4.5%	0.0%	0.0%
6	14.3%	7.7%	5.6%	5.6%	4.5%	9.1%	13.3%

「問７－１　あなたの家族が結婚しようとする相手が、同和地区と呼ばれる地域出身の人とわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）」については、「２　本人の意思を尊重し、結婚に賛成すると思う」が 48.2%、「３　不安であるが、本人の意思が強ければしかたがないと思う」が 27.2%、「１　たとえ家族や親戚の反対があっても、反対する人を説得するなどして、結婚できるように応援すると思う」が 6.1%で、これらを合わせると、肯定が 81.5% となっている。一方、「４　家族や親戚の反対があれば、結婚を考え直すように説得すると思う」が 9.6% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　不安であるが、本人の意思が強ければしかたがないと思う」（男性：34.1%、女性：22.5%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　家族や親戚の反対があれば、結婚を考え直すように説得すると思う」（男性：6.8%、女性：11.3%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　たとえ家族や親戚の反対があっても、反対する人を説得するなどして、結婚できるように応援すると思う」「２　本人の意思を尊重し、結婚に賛成すると思う」「３　不安であるが、本人の意思が強ければしかたがないと思う」を合わせた「結婚を許す」意見が圧倒的多数となっている。一方、46-75歳では、「４　家族や親戚の反対があれば、結婚を考え直すように説得すると思う」が、10%以上となっている。

問７－２　あなたが結婚しようとする相手が、同和地区と呼ばれる地域出身の人とわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
１　自分の意思を貫いて結婚する	41.5%	42.6%
２　家族や親戚の反対があれば結婚しない	17.1%	10.3%
３　わからない	41.5%	47.1%

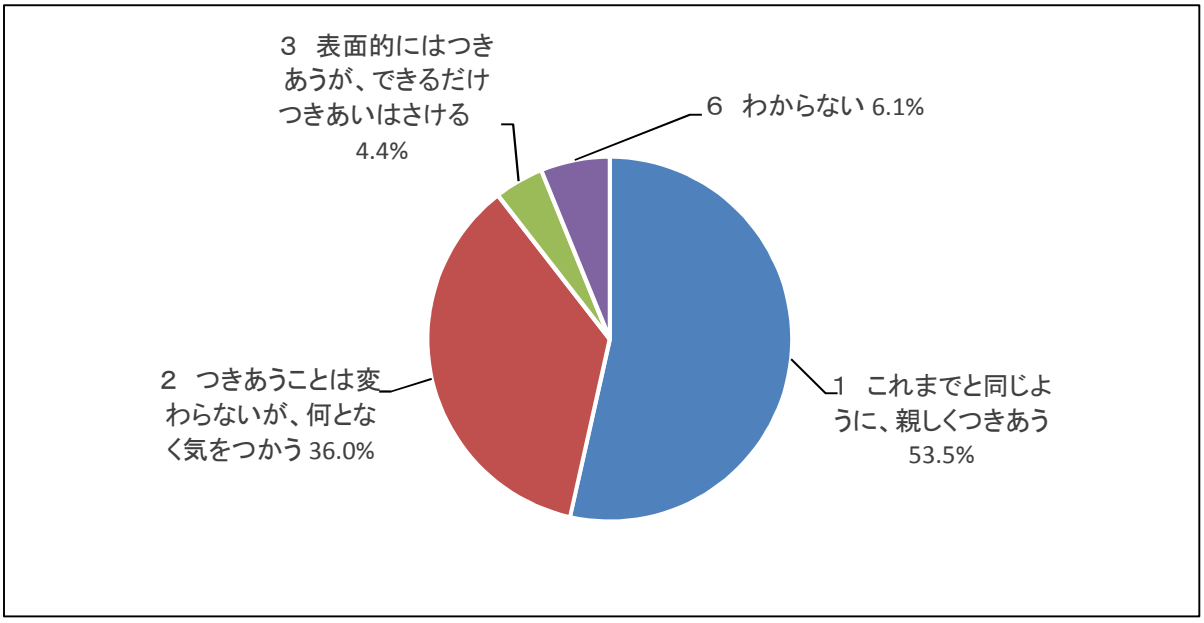
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	85.7%	53.8%	61.1%	33.3%	38.1%	25.0%	25.0%
2	0.0%	7.7%	5.6%	27.8%	14.3%	20.0%	0.0%
3	14.3%	38.5%	33.3%	38.9%	47.6%	55.0%	75.0%

「問７－２　あなたが結婚しようとする相手が、同和地区と呼ばれる地域出身の人とわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）」については、「３　わからない」が 45.0% と最も多く、次いで「１　自分の意思を貫いて結婚する」が 42.2% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　家族や親戚の反対があれば結婚しない」（男性：17.1%、女性：10.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　わからない」（男性：41.5%、女性：47.1%）となっている。

年齢別にみると、45歳以下では、「１　自分の意思を貫いて結婚する」が過半数となっている。一方、56歳以上では、「３　わからない」がほぼ半数以上となっている。

問７－３　あなたの職場や近所の人が、同和地区と呼ばれる地域出身の人とわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）（単位：％）



選択肢	男	女
1　これまでと同じように、親しくつきあうと思う	46.5%	57.7%
2　つきあうことは変わらないが、何となく気をつかう	39.5%	33.8%
3　表面的にはつきあうが、できるだけつきあいはさけていくと思う	2.3%	5.6%
4　つきあいはやめてしまうと思う	0.0%	0.0%
5　その他	0.0%	0.0%
6　わからない	11.6%	2.8%

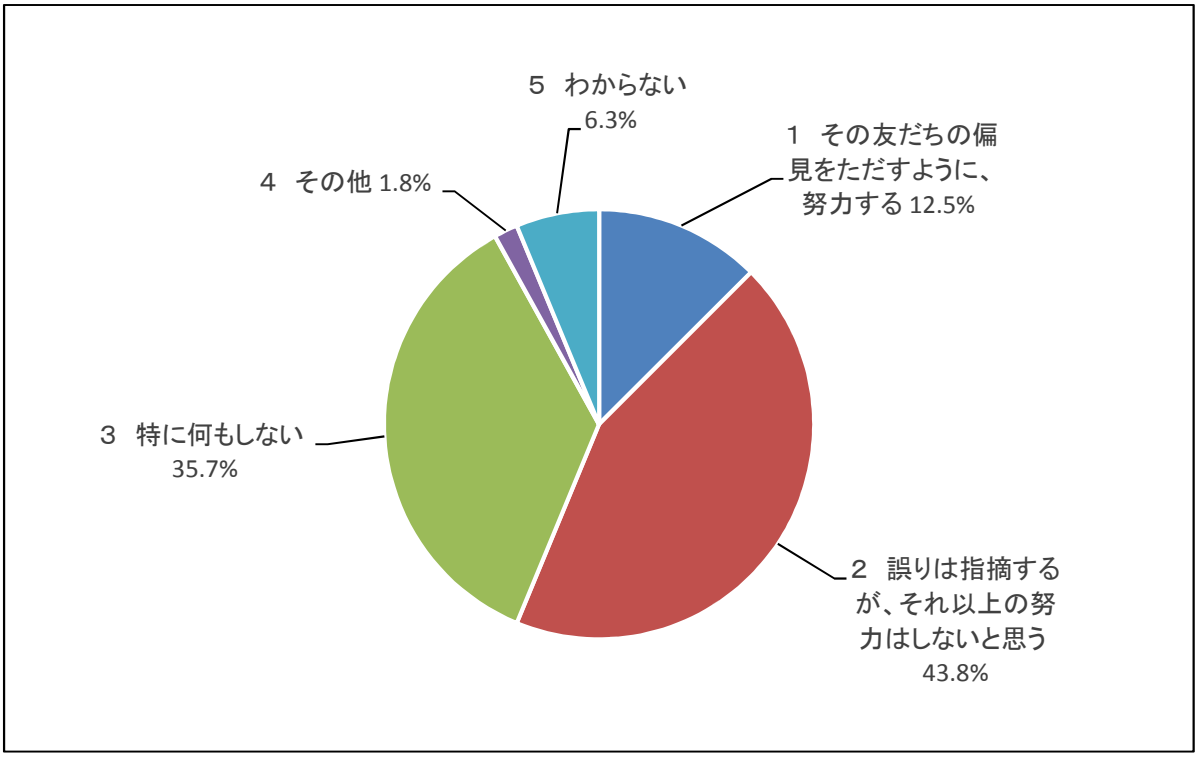
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	71.4%	61.5%	72.2%	38.9%	52.4%	54.5%	33.3%
2	14.3%	23.1%	16.7%	44.4%	42.9%	40.9%	53.3%
3	0.0%	7.7%	5.6%	11.1%	0.0%	4.5%	0.0%
4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	14.3%	7.7%	5.6%	5.6%	4.8%	0.0%	13.3%

「問７－３　あなたの職場や近所の人が、同和地区と呼ばれる地域出身の人とわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）」については、「１　これまでと同じように、親しくつきあうと思う」が 53.5% となっている。一方、「２　つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う」が 36.0%、「３　表面的にはつきあうが、できるだけつきあいはさけていくと思う」が 4.4% で、これらを合わせると、否定的な意見が 40.4% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「６　わからない」（男性：11.6%、女性：2.8%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　これまでと同じように、親しくつきあうと思う」（男性：46.5%、女性：57.7%）となっている。

年齢別にみると、全年代で、「１　これまでと同じように、親しくつきあうと思う」が多数となっている。一方、46歳以上では、45歳以下に比べ、「２　つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う」の割合が高くなっている。

問７－４　あなたの親しい友人が、同和問題について強い偏見をもっていることがわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）（単位：%）



選択肢	男	女
1　その友人の偏見をただすように、努力する	9.3%	14.5%
2　誤りは指摘するが、それ以上の努力はしない	41.9%	44.9%
3　特に何もしないと思う	37.2%	34.8%
4　その他	2.3%	1.4%
5　わからない	9.3%	4.3%

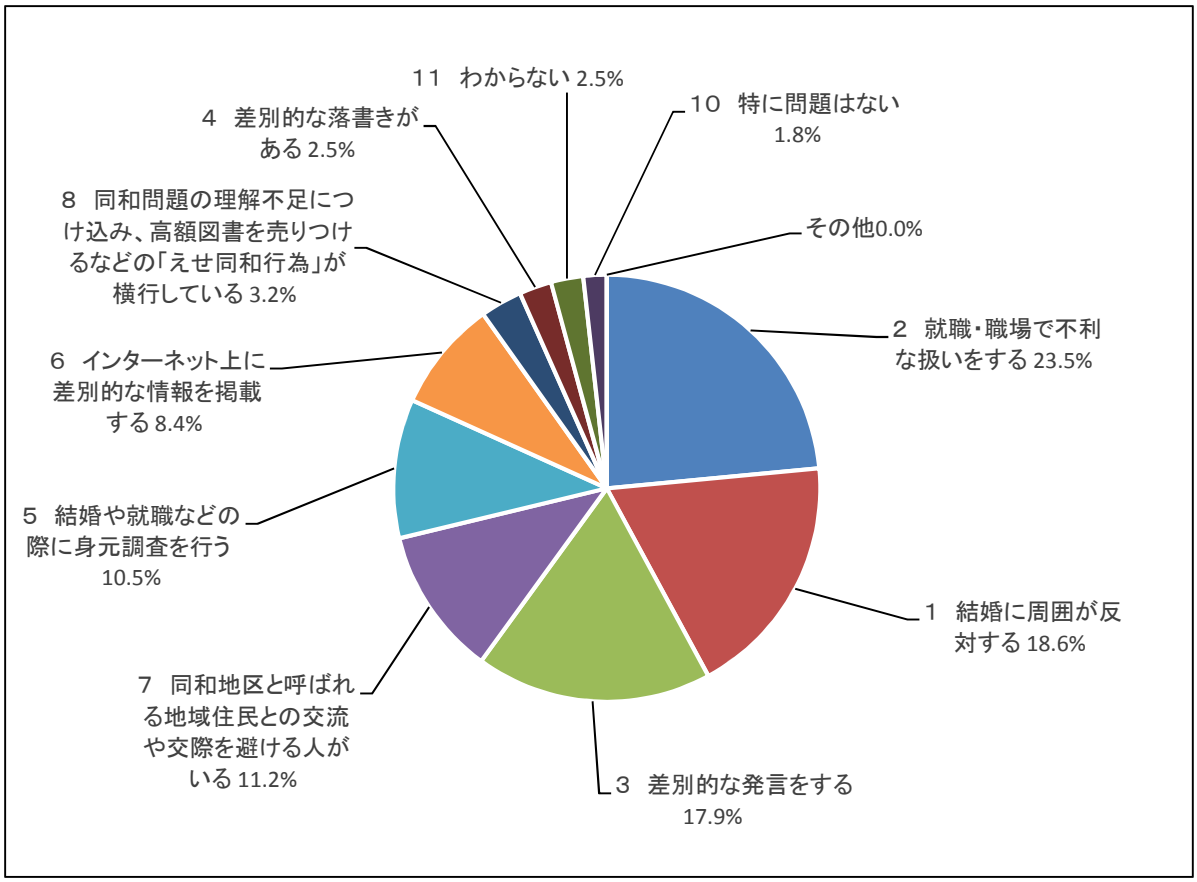
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	28.6%	7.7%	29.4%	5.6%	9.5%	4.8%	13.3%
2	42.9%	38.5%	35.3%	44.4%	42.9%	61.9%	33.3%
3	14.3%	46.2%	23.5%	44.4%	38.1%	33.3%	40.0%
4	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
5	14.3%	7.7%	5.9%	5.6%	4.8%	0.0%	13.3%

「問７－４　あなたの親しい友人が、同和問題について強い偏見をもっていることがわかった場合どうしますか。（○は１つだけ）」については、「２　誤りは指摘するが、それ以上の努力はしないと思う」 が 43.8%、「１　その友人の偏見をただすように、努力すると思う」 が 12.5%で、これらを合わせると、が 56.3% となっている。一方、「３　特に何もしないと思う」 が 35.7% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「５　わからない」（男性：9.3%、女性：4.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　その友人の偏見をただすように、努力すると思う」（男性：9.3%、女性：14.5%）となっている。

年齢別にみると、おおむね全世代で、「２　誤りは指摘するが、それ以上の努力はしないと思う」「３　特に何もしないと思う」が多数となっている。一方、16-25歳および36-45歳では、他の世代に比べ、「１　その友人の偏見をただすように、努力すると思う」が比較的多数となっている。

問８　同和問題に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）（単位：%）



選択肢	男	女
１　結婚に周囲が反対する	15.7%	20.2%
２　就職・職場で不利な扱いをする	25.5%	22.4%
３　差別的な発言をする	16.7%	18.6%
４　差別的な落書きがある	3.9%	1.6%
５　結婚や就職などの際に身元調査を行う	8.8%	11.5%
６　インターネット上に差別的な情報を掲載する	6.9%	9.3%
７　同和地区と呼ばれる地域住民との交流や交際を避ける人がいる	14.7%	9.3%
８　同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどのえせ同和行為が横行している	3.9%	2.7%
９　その他	0.0%	0.0%
１０　特に問題はない	1.0%	2.2%
１１　わからない	2.9%	2.2%

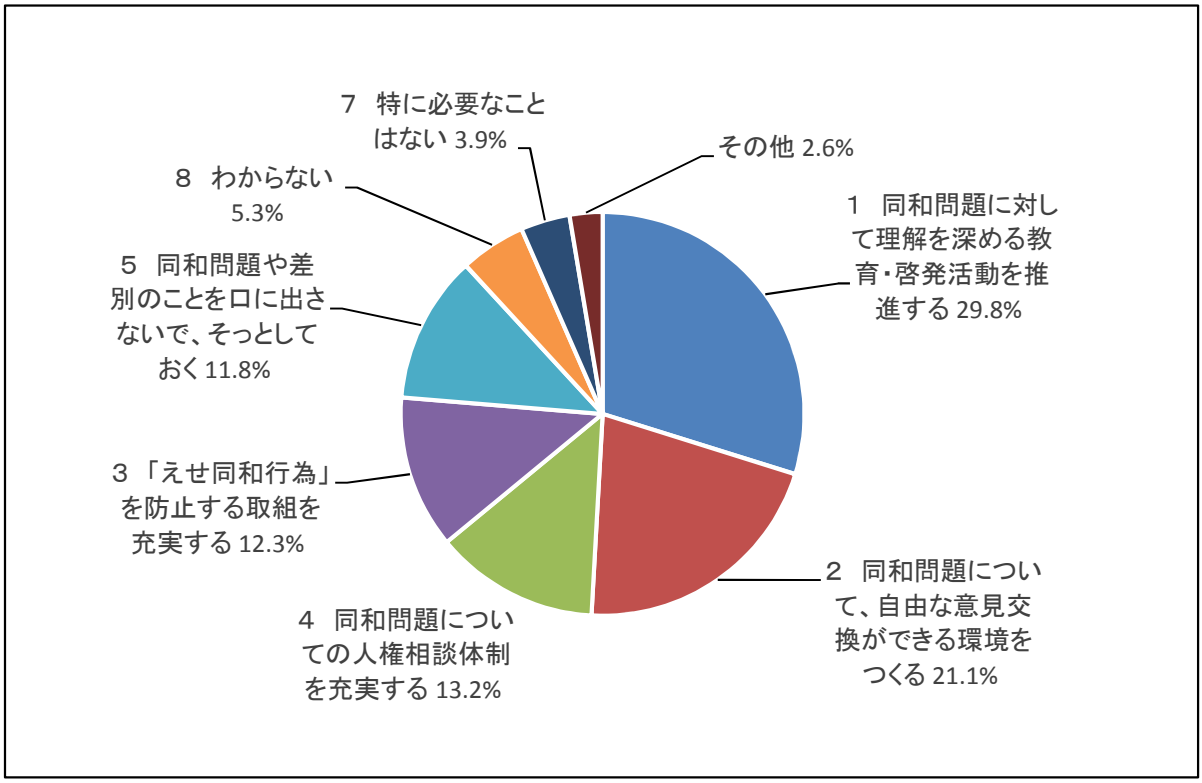
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	23.8%	15.6%	14.9%	20.4%	18.9%	19.6%	18.8%
2	23.8%	25.0%	27.7%	20.4%	18.9%	27.5%	21.9%
3	14.3%	18.8%	25.5%	12.2%	20.8%	15.7%	15.6%
4	4.8%	0.0%	2.1%	2.0%	3.8%	2.0%	3.1%
5	14.3%	18.8%	2.1%	14.3%	9.4%	9.8%	9.4%
6	9.5%	6.3%	10.6%	14.3%	9.4%	5.9%	0.0%
7	9.5%	6.3%	8.5%	10.2%	15.1%	11.8%	15.6%
8	0.0%	9.4%	4.3%	4.1%	1.9%	2.0%	0.0%
9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	3.9%	6.3%
11	0.0%	0.0%	2.1%	2.0%	1.9%	2.0%	9.4%

「問８　同和問題に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）」については、「２　就職・職場で不利な扱いをする」 が 23.5% が最も多く、次いで「１　結婚に周囲が反対する」 が 18.6% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「７　同和地区と呼ばれる地域住民との交流や交際を避ける人がいる」（男性：14.7%、女性：9.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　結婚に周囲が反対する」（男性：15.7%、女性：20.2%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　結婚に周囲が反対する」「２　就職・職場で不利な扱いをする」「３　差別的な発言をする」が多数となっている。一方、46-55歳以上の世代と以下の世代を比較すると、前者は「７　同和地区と呼ばれる地域住民との交流や交際を避ける人がいる」が比較的多く、後者は、「５　結婚や就職などの際に身元調査を行う」「６　インターネット上に差別的な情報を掲載する」が比較的多数となっている。

問９　同和問題の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　同和問題に対して理解を深める教育・啓発活動を推進する	28.4%	30.7%
２　同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	23.9%	19.3%
３　「えせ同和行為」を防止する取組を充実する	9.1%	14.3%
４　同和問題についての人権相談体制を充実する	14.8%	12.1%
５　同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておく	14.8%	10.0%
６　その他	2.3%	2.9%
７　特に必要なことはない	4.5%	3.6%
８　わからない	2.3%	7.1%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	31.3%	33.3%	26.3%	26.8%	33.3%	31.7%	26.9%
2	31.3%	16.7%	21.1%	17.1%	19.0%	22.0%	26.9%
3	12.5%	12.5%	15.8%	17.1%	11.9%	4.9%	11.5%
4	12.5%	16.7%	13.2%	17.1%	11.9%	14.6%	3.8%
5	12.5%	16.7%	10.5%	4.9%	14.3%	12.2%	15.4%
6	0.0%	0.0%	2.6%	7.3%	2.4%	0.0%	3.8%
7	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	2.4%	9.8%	7.7%
8	0.0%	4.2%	10.5%	4.9%	4.8%	4.9%	3.8%

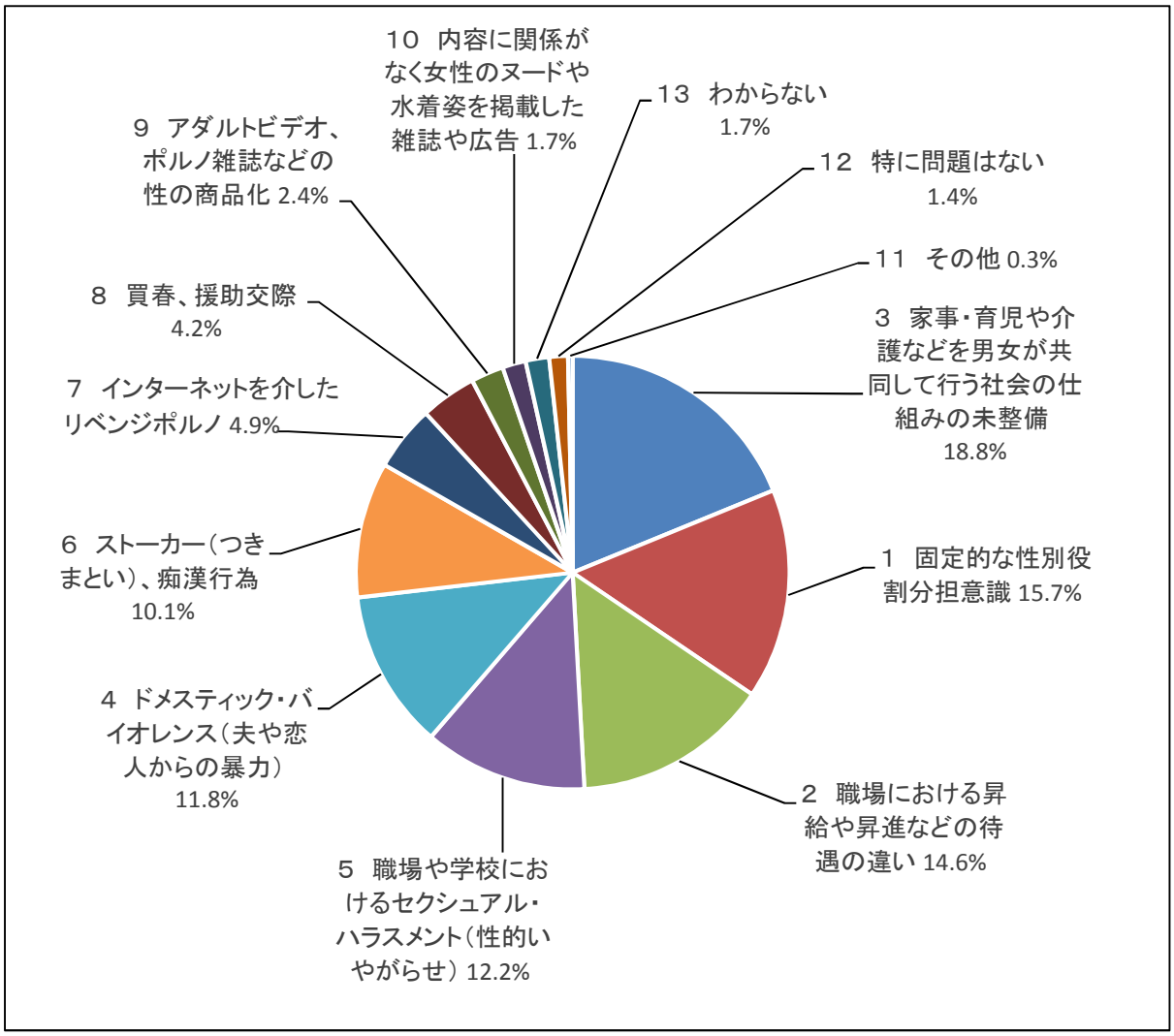
「問９　同和問題の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　同和問題に対して理解を深める教育・啓発活動を推進する」 が 29.8% と最も多く、次いで「２　同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」 が 21.1% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「５　同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておく」（男性：14.8%、女性：10.0%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「３「えせ同和行為」を防止する取組を充実する」（男性：9.1%、女性：14.3%）となっている。

年齢別にみても、有意な傾向は見当たらない。

（２）女性の人権

問１０　女性に関する人権上深刻な問題（複数回答、単位：％）



選択肢	男	女
１　固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭など）	15.7%	15.7%
２　職場における昇給や昇進などの待遇の違い	14.7%	14.6%
３　家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備	18.6%	18.9%
４　ドメスティック・バイオレンス	14.7%	10.3%
５　職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	13.7%	11.4%
６　ストーカー（つきまとい）、痴漢行為	12.7%	8.6%
７　インターネットを介したリベンジポルノ	2.9%	5.9%
８　買春、援助交際	2.0%	5.4%
９　アダルトビデオ、ポルノ雑誌など性の商品化	2.0%	2.7%
１０　内容に関係がなく女性のヌードや水着姿を掲載した雑誌や広告	0.0%	2.7%
１１　その他	0.0%	0.5%
１２　特に問題はない	1.0%	1.6%
１３　わからない	2.0%	1.6%

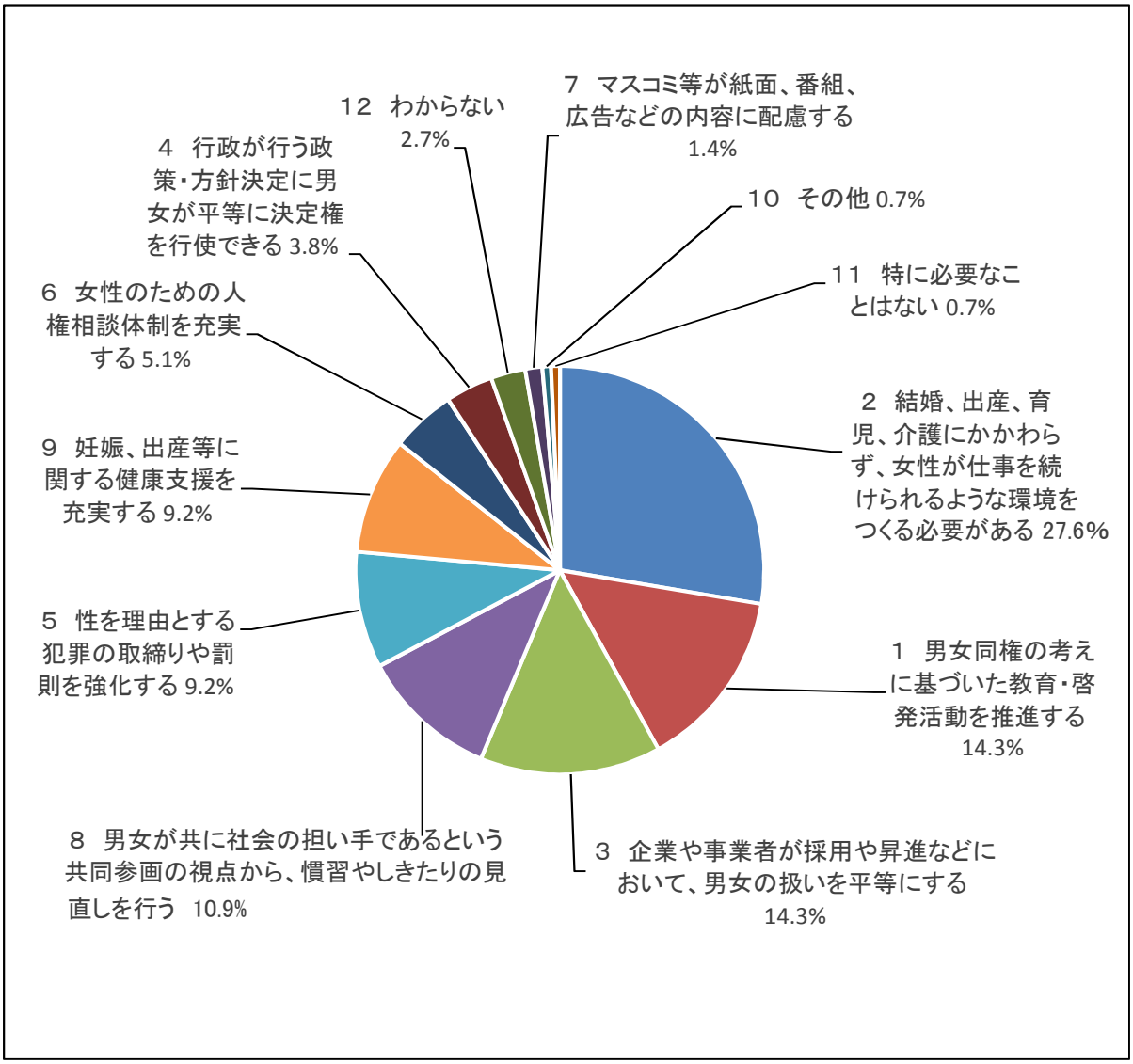
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	16.7%	13.9%	14.0%	20.0%	13.2%	14.3%	19.4%
2	22.2%	13.9%	14.0%	11.1%	20.8%	16.3%	5.6%
3	16.7%	25.0%	18.0%	20.0%	15.1%	18.4%	19.4%
4	22.2%	11.1%	6.0%	17.8%	9.4%	6.1%	19.4%
5	11.1%	8.3%	12.0%	13.3%	9.4%	16.3%	13.9%
6	11.1%	11.1%	16.0%	6.7%	11.3%	10.2%	2.8%
7	0.0%	8.3%	8.0%	4.4%	5.7%	4.1%	0.0%
8	0.0%	5.6%	6.0%	2.2%	3.8%	2.0%	8.3%
9	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.8%	4.1%	5.6%
10	0.0%	2.8%	2.0%	2.2%	0.0%	2.0%	2.8%
11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
12	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	4.1%	2.8%
13	0.0%	0.0%	2.0%	2.2%	3.8%	2.0%	0.0%

「問１０　女性に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）」については、「３　家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備」 が 18.8% と最も多く、次いで「１　固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）」 が 15.7% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　ドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からの暴力）」（男性：14.7%、女性：10.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「８　買春、援助交際」（男性：2.0%、女性：5.4%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）」「３　家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備」が多数となっている。一方、「２　職場における昇給や昇進などの待遇の違い」「４　ドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からの暴力）」「５　職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」「６　ストーカー（つきまとい）、痴漢行為」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

問１１　女性の人権を守るために必要なこと（複数回答、単位：%）



選択肢	男	女
１　男女同権の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する	20.0%	11.2%
２　結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような職場がつくる	29.5%	26.6%
３　企業や事業者が採用や昇進などにおいて、男女の扱いを平等にする	13.3%	14.9%
４　行政が行う政策・方針決定に男女が平等に決定権を行使できる	3.8%	3.7%
５　性犯罪の取締りや罰則を強化する	5.7%	11.2%
６　女性のための人権相談体制を充実する	3.8%	5.9%
７　マスコミ等が紙面、番組、広告などの内容に配慮する	0.0%	2.1%
８　男女が共に社会の担い手であるという共同参画の視点から、慣習やしきたりの見直しを行う	10.5%	11.2%
９　妊娠、出産等に関する健康支援を充実する	9.5%	9.0%
１０　その他	0.0%	1.1%
１１　特に必要なことはない	0.0%	1.1%
１２　わからない	3.8%	2.1%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	22.2%	2.9%	16.7%	8.5%	14.5%	18.9%	18.9%
2	22.2%	34.3%	31.3%	31.9%	25.5%	20.8%	27.0%
3	16.7%	11.4%	12.5%	14.9%	14.5%	17.0%	13.5%
4	0.0%	0.0%	4.2%	6.4%	3.6%	3.8%	5.4%
5	0.0%	17.1%	8.3%	12.8%	5.5%	11.3%	5.4%
6	5.6%	2.9%	6.3%	2.1%	5.5%	11.3%	0.0%
7	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	1.8%	0.0%	2.7%
8	5.6%	8.6%	8.3%	17.0%	14.5%	5.7%	13.5%
9	27.8%	20.0%	6.3%	4.3%	3.6%	7.5%	10.8%
10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.9%	0.0%
11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	2.7%
12	0.0%	2.9%	2.1%	2.1%	7.3%	1.9%	0.0%

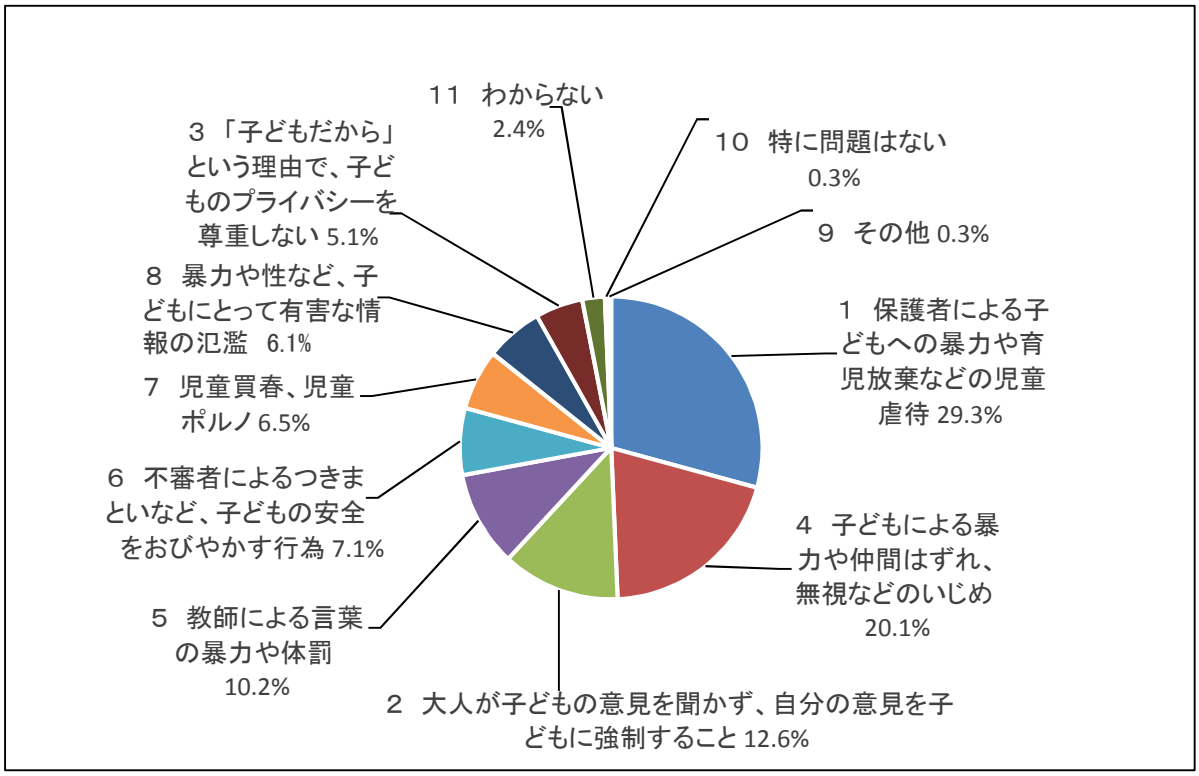
「問１１　女性の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）」については、「２　結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境を企業や事業所がつくる」 が 27.6% と最も多く、次いで「1 男女同権の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する」 が 14.3% となっている。

性別でみると、女性より男性の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　男女同権の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する」（男性：20.0%、女性：11.2%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「５　性を理由とする犯罪の取締りや罰則を強化する」（男性：5.7%、女性：11.2%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「２　結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境を企業や事業所がつくる」「３　企業や事業者が採用や昇進などにおいて、男女の扱いを平等にする」が多数となっている。一方、「１　男女同権の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

（３）子どもの人権

問１２　子どもに関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　保護者による子どもへの暴力や育児放棄（ネグレクト）などの児童虐待	31.5%	28.0%
２　大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること	12.0%	12.9%
３　「子どもだからという理由で、子どものプライバシーを尊重しない	7.4%	3.8%
４　子どもによる暴力やなかまはずれ、無視などのいじめ	18.5%	21.0%
５　教師による言葉の暴力や体罰	10.2%	10.2%
６　不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	4.6%	8.6%
７　児童買春、児童ポルノ	5.6%	7.0%
８　暴力や性など、子どもに有害な情報の氾濫	6.5%	5.9%
９　その他	0.0%	0.5%
１０　特に問題はない	0.0%	0.5%
１１　わからない	3.7%	1.6%

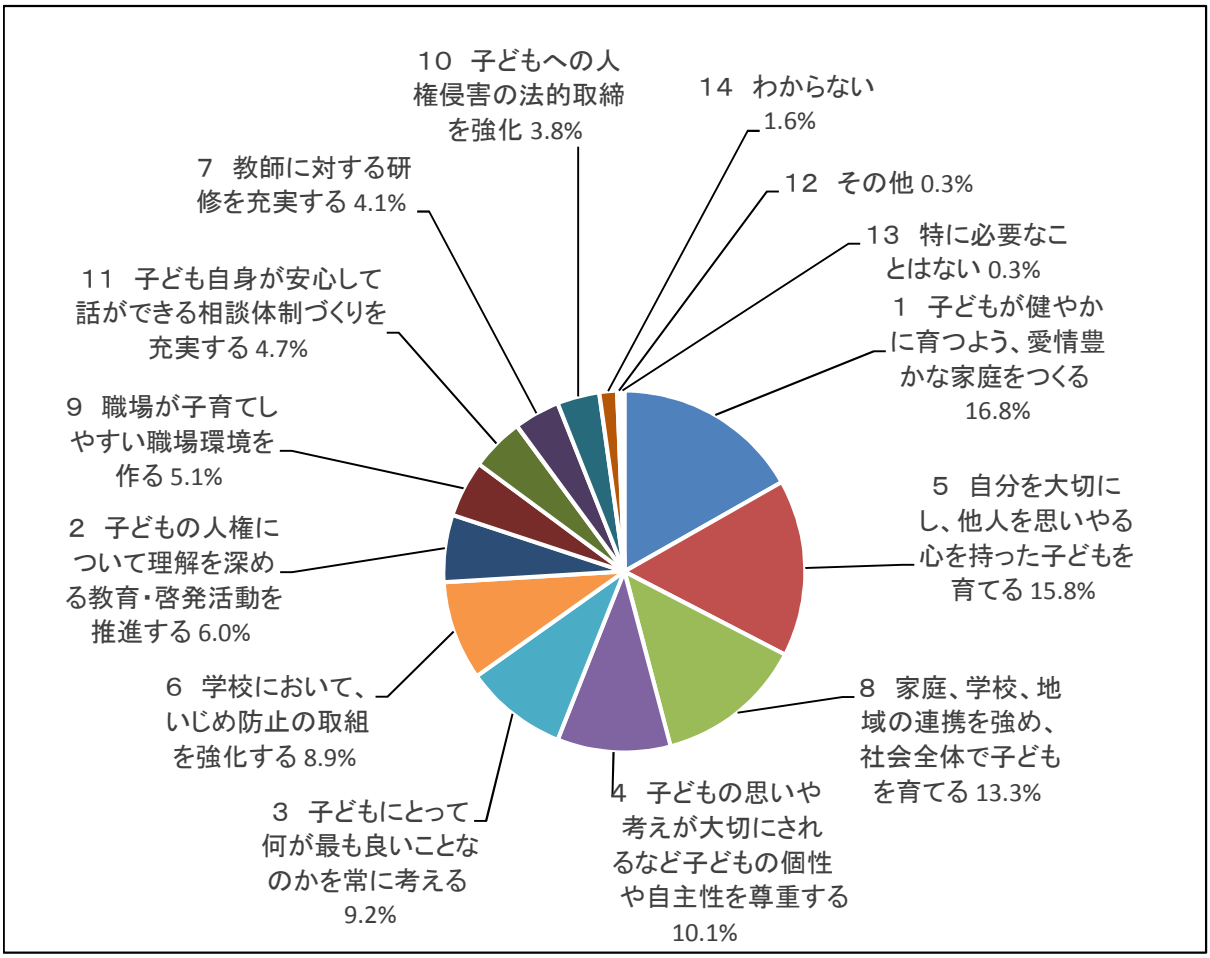
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	33.3%	27.0%	31.4%	31.3%	30.4%	26.0%	26.5%
2	11.1%	13.5%	9.8%	6.3%	19.6%	16.0%	8.8%
3	0.0%	8.1%	3.9%	6.3%	7.1%	2.0%	5.9%
4	27.8%	21.6%	21.6%	20.8%	17.9%	16.0%	20.6%
5	11.1%	10.8%	5.9%	14.6%	7.1%	12.0%	11.8%
6	11.1%	8.1%	7.8%	6.3%	7.1%	6.0%	5.9%
7	5.6%	5.4%	7.8%	10.4%	3.6%	4.0%	8.8%
8	0.0%	5.4%	9.8%	2.1%	1.8%	14.0%	5.9%
9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%
11	0.0%	0.0%	2.0%	2.1%	3.6%	2.0%	5.9%

「問１２　子どもに関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　保護者による子どもへの暴力や育児放棄（ネグレクト）などの児童虐待」 が 29.3% と最も多く、次いで「４　子どもによる暴力やなかまはずれ、無視などのいじめ」 が 20.1% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しない」（男性：7.4%、女性：3.8%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「６　不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為」（男性：4.6%、女性：8.6%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　保護者による子どもへの暴力や育児放棄（ネグレクト）などの児童虐待」「４　子どもによる暴力やなかまはずれ、無視などのいじめ」が多数となっている。一方、「２　大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること」「５　教師による言葉の暴力や体罰」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

問１３　子どもの人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる	18.9%	15.6%
２　子どもの人権について理解を深める教育・啓発活動を推進する	9.0%	4.4%
３　子どもにとって何が最も良いことなのかを常に考える	7.2%	10.2%
４　子どもの思いや考えが大切にされるなど子どもの個性や自主性を尊重する	10.8%	9.8%
５　自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる	17.1%	15.1%
６　学校において、いじめ防止の取組を強化する	8.1%	9.3%
７　教師に対する研修を充実する	2.7%	4.9%
８　家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる	14.4%	12.7%
９　職場が子育てしやすい職場環境を作る	1.8%	6.8%
１０　子どもへの人権侵害の法的取締を強化する	3.6%	3.9%
１１　子ども自身が安心して話ができる相談体制づくりを充実する	2.7%	5.9%
１２　その他	0.0%	0.5%
１３　特に必要なことはない	0.9%	0.0%
１４　わからない	2.7%	1.0%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	11.1%	11.1%	9.8%	16.7%	11.9%	24.6%	27.9%
2	0.0%	2.8%	9.8%	8.3%	8.5%	3.3%	4.7%
3	11.1%	2.8%	11.8%	6.3%	10.2%	13.1%	7.0%
4	11.1%	13.9%	5.9%	10.4%	10.2%	11.5%	9.3%
5	16.7%	11.1%	19.6%	20.8%	15.3%	14.8%	11.6%
6	11.1%	11.1%	11.8%	4.2%	11.9%	8.2%	4.7%
7	0.0%	11.1%	5.9%	4.2%	1.7%	0.0%	7.0%
8	16.7%	11.1%	7.8%	12.5%	13.6%	16.4%	16.3%
9	11.1%	13.9%	3.9%	2.1%	8.5%	1.6%	0.0%
10	5.6%	5.6%	7.8%	2.1%	1.7%	3.3%	2.3%
11	5.6%	2.8%	3.9%	10.4%	1.7%	3.3%	7.0%
12	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
13	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14	0.0%	0.0%	2.0%	2.1%	3.4%	0.0%	2.3%

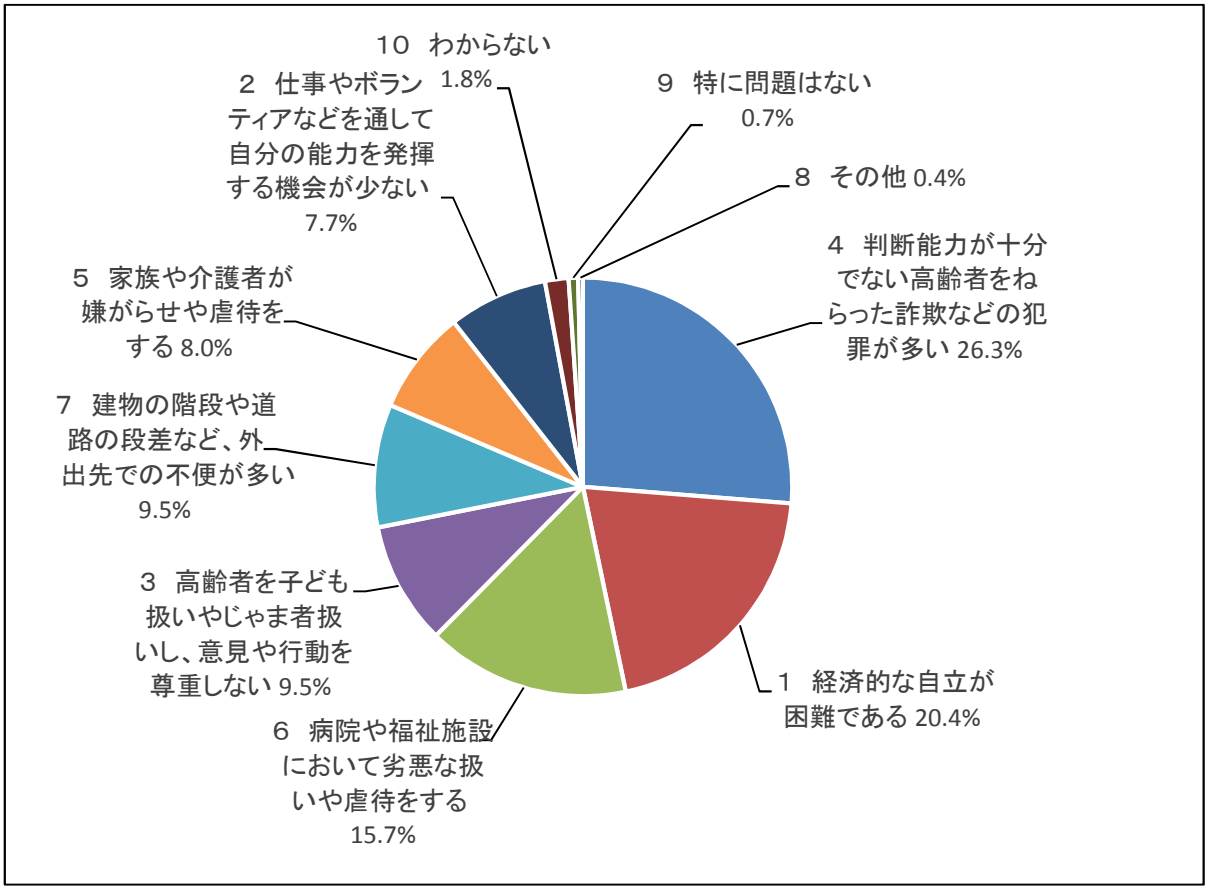
「問１３　子どもの人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」 が 16.8% と最も多く、次いで「５　自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」 が 15.8% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　子どもの人権について理解を深める教育・啓発活動を推進する」（男性：9.0%、女性：4.4%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「９　企業や事業所が子育てしやすい職場環境を作る」（男性：1.8%、女性：6.8%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「５　自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」が多数となっている。一方、「１　子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」「３　子どもにとって何が最も良いことなのかを常に考える」「４　子どもの思いや考えが大切にされるなど子どもの個性や自主性を尊重する」「６　学校において、いじめ防止の取組を強化する」「８　家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

（４）高齢者の人権

問１４　高齢者に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　経済的な自立が困難である	21.6%	19.8%
２　仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない	11.8%	5.2%
３　高齢者を子ども扱いやじゃま者扱いし、意見や行動を尊重しない	9.8%	9.3%
４　判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い	26.5%	26.2%
５　家族や介護者が嫌がらせや虐待をする	6.9%	8.7%
６　病院や福祉施設で劣悪な扱いや虐待をする	13.7%	16.9%
７　建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い	7.8%	10.5%
８　その他	0.0%	0.6%
９　特に問題はない	0.0%	1.2%
１０　わからない	2.0%	1.7%

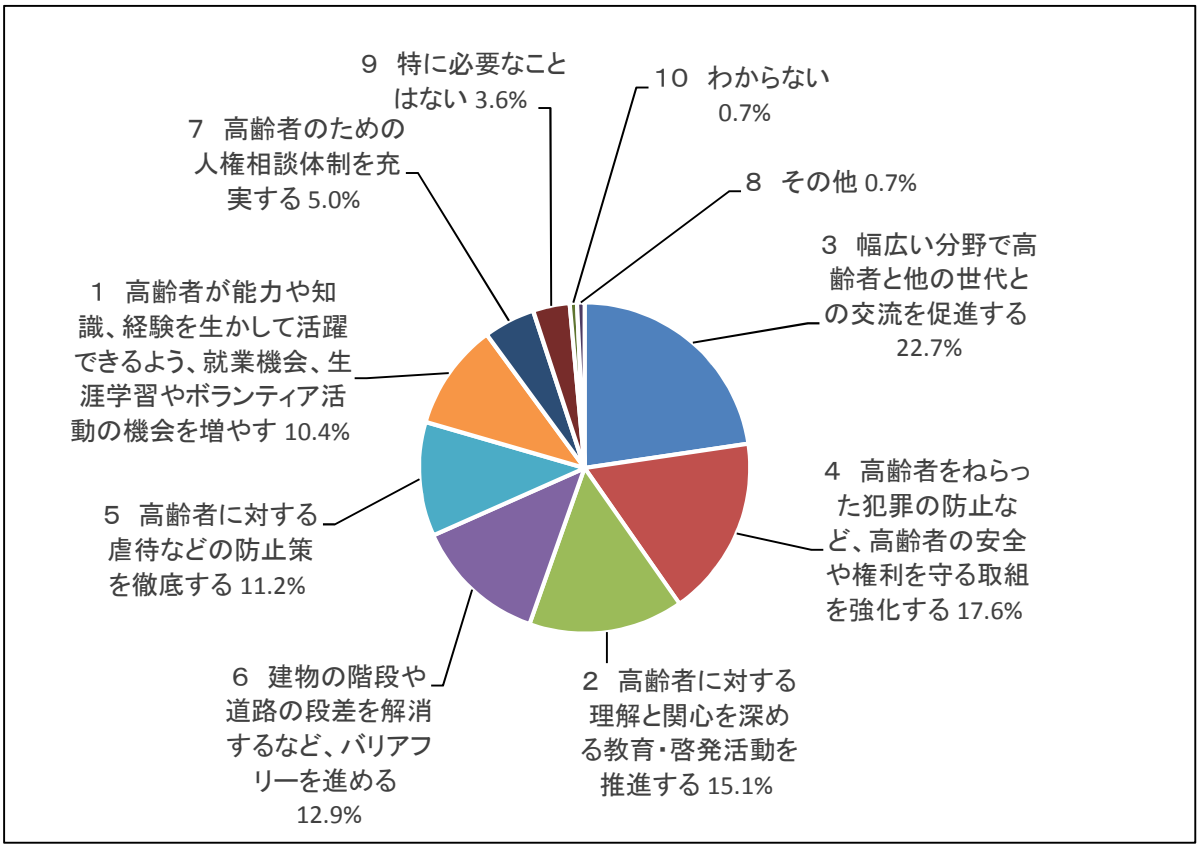
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	12.5%	21.9%	13.0%	25.0%	20.8%	25.5%	18.8%
2	6.3%	9.4%	10.9%	2.1%	9.4%	8.5%	6.3%
3	25.0%	3.1%	10.9%	16.7%	3.8%	6.4%	9.4%
4	18.8%	34.4%	26.1%	18.8%	24.5%	29.8%	31.3%
5	12.5%	6.3%	10.9%	6.3%	7.5%	10.6%	3.1%
6	18.8%	12.5%	17.4%	20.8%	18.9%	8.5%	12.5%
7	0.0%	12.5%	6.5%	8.3%	13.2%	8.5%	12.5%
8	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
10	0.0%	0.0%	2.2%	2.1%	1.9%	2.1%	3.1%

「問１４　高齢者に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）」については、「４　判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」 が 26.3% と最も多く、次いで「１　経済的な自立が困難である」 が 20.4% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない」（男性：11.8%、女性：5.2%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「６　病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする」（男性：13.7%、女性：16.9%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　経済的な自立が困難である」「４　判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」が多数となっている。一方、「６　病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする」については、年齢ごとにばらつきはあるが、割合が高くなる傾向がある。

問１５　高齢者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）（単位：%）



選択肢	男	女
１　高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす	21.8%	16.3%
２　高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	12.9%	9.6%
３　幅広い分野で高齢者と他の世代との交流を促進する	15.8%	10.7%
４　高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の安全や権利を守る取組を強化する	16.8%	24.7%
５　高齢者に対する虐待などの防止策を徹底する	6.9%	12.9%
６　建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める	12.9%	16.3%
７　高齢者のための人権相談体制を充実する	5.9%	5.1%
８　その他	1.0%	0.6%
９　特に必要なことはない	0.0%	1.1%
１０　わからない	5.9%	2.8%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	13.3%	12.5%	17.0%	23.3%	23.6%	15.7%	16.7%
2	0.0%	6.3%	10.6%	9.3%	7.3%	15.7%	19.4%
3	20.0%	9.4%	10.6%	11.6%	10.9%	19.6%	8.3%
4	26.7%	28.1%	21.3%	18.6%	21.8%	19.6%	22.2%
5	13.3%	21.9%	12.8%	9.3%	9.1%	9.8%	2.8%
6	13.3%	9.4%	14.9%	20.9%	20.0%	9.8%	13.9%
7	6.7%	6.3%	4.3%	4.7%	1.8%	7.8%	8.3%
8	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
9	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
10	6.7%	6.3%	4.3%	2.3%	3.6%	2.0%	5.6%

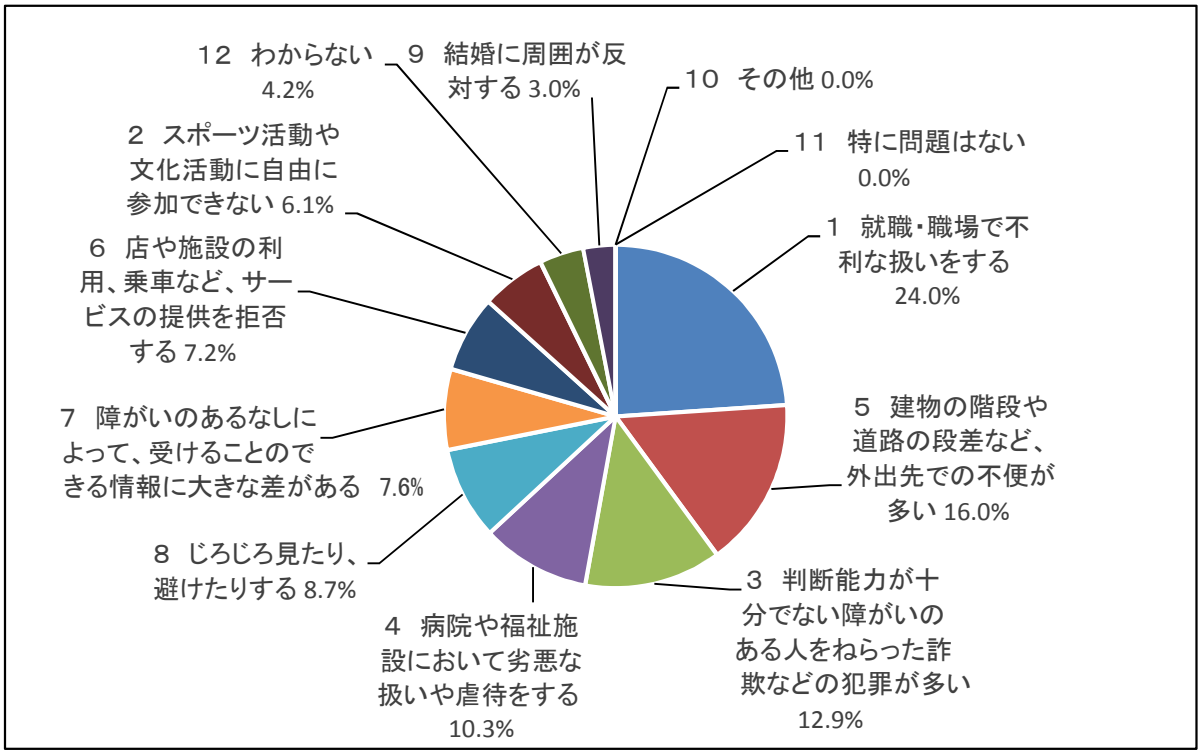
「問１５　高齢者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）」については、「３　幅広い分野で高齢者と他の世代との交流を促進する」 が 22.7% と最も多く、次いで「４　高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の安全や権利を守る取組を強化する」 が 17.6% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」（男性：21.8%、女性：16.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の安全や権利を守る取組を強化する」（男性：16.8%、女性：24.7%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　経済的な自立が困難である」「４　判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」が多数となっている。一方、「３　幅広い分野で高齢者と他の世代との交流を促進する」「６　建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

（５）障がいがある人の人権

問１６　障がいのある人に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　就職・職場で不利な扱いをする	29.0%	22.6%
２　スポーツ・文化活動に自由に参加できない	8.6%	4.8%
３　判断能力が十分でない障がいのある人をねらった詐欺などの犯罪が多い	14.0%	11.3%
４　病院や福祉施設で劣悪な扱いや虐待をする	6.5%	11.9%
５　建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い	17.2%	15.5%
６　店や施設の利用、乗車など、サービスの提供を拒否する	4.3%	8.9%
７　障がいのあるなしによって、受けることのできる情報に大きな差がある	7.5%	7.1%
８　じろじろ見たり、避けたりする	6.5%	10.1%
９　結婚に周囲が反対する	2.2%	3.6%
１０　その他	0.0%	0.0%
１１　特に問題はない	0.0%	0.0%
１２　わからない	4.3%	4.2%

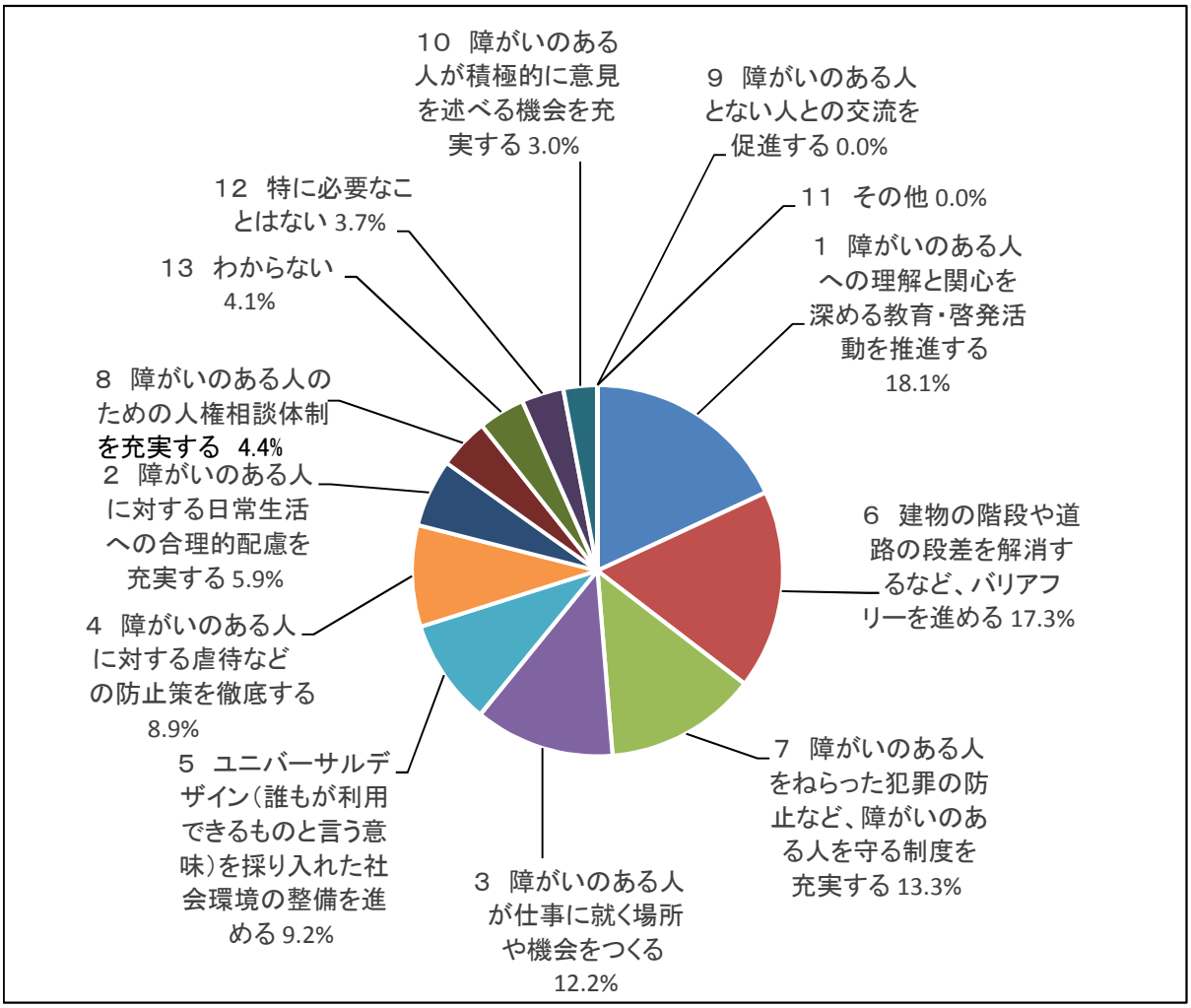
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	35.3%	25.0%	28.9%	15.9%	25.5%	29.5%	19.4%
2	5.9%	3.1%	2.6%	6.8%	3.6%	11.4%	9.7%
3	5.9%	15.6%	13.2%	11.4%	10.9%	9.1%	19.4%
4	11.8%	15.6%	15.8%	11.4%	9.1%	6.8%	0.0%
5	11.8%	12.5%	13.2%	22.7%	18.2%	15.9%	12.9%
6	5.9%	15.6%	5.3%	11.4%	7.3%	4.5%	0.0%
7	5.9%	9.4%	5.3%	2.3%	10.9%	9.1%	6.5%
8	17.6%	0.0%	7.9%	11.4%	7.3%	6.8%	16.1%
9	0.0%	0.0%	2.6%	4.5%	3.6%	4.5%	3.2%
10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	0.0%	3.1%	5.3%	2.3%	3.6%	2.3%	12.9%

「問１６　障がいのある人に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか（○は３つまで）」については、「１　就職・職場で不利な扱いをする」 が 24.0% と最も多く、次いで「５　建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い」 が 16.0% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　就職・職場で不利な扱いをする」（男性：29.0%、女性：22.6%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする」（男性：6.5%、女性：11.9%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　就職・職場で不利な扱いをする」「５　建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い」が多数となっている。一方、「３　判断能力が十分でない障がいのある人をねらった詐欺などの犯罪が多い」「４　病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

問１７　障がいのある人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　障がいのある人への理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	22.0%	16.2%
２　障がいのある人に対する日常生活への合理的配慮を充実する	16.0%	9.8%
３　障がいのある人が仕事に就く場所や機会をつくる	13.0%	19.7%
４　障がいのある人に対する虐待などの防止策を徹底する	6.0%	6.4%
５　ユニバーサルデザイン（誰もが利用できるものと言う意味）を採り入れた社会環境の整備を進める	8.0%	10.4%
６　建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める	10.0%	15.0%
７　障がいのある人をねらった犯罪の防止など、障がいのある人を守る制度を充実する	7.0%	8.7%
８　障がいのある人のための人権相談体制を充実する	5.0%	3.5%
９　障がいのある人とない人との交流を促進する	2.0%	3.5%
１０　障がいのある人が積極的に意見を述べる機会を充実する	5.0%	3.5%
１１　その他	1.0%	0.0%
１２　特に必要なことはない	1.0%	0.0%
１３　わからない	4.0%	3.5%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	16.7%	5.7%	19.0%	16.7%	12.7%	27.1%	30.3%
2	11.1%	11.4%	7.1%	14.3%	14.5%	14.6%	9.1%
3	27.8%	17.1%	19.0%	9.5%	25.5%	12.5%	12.1%
4	11.1%	14.3%	4.8%	7.1%	3.6%	2.1%	6.1%
5	22.2%	14.3%	14.3%	11.9%	5.5%	4.2%	3.0%
6	5.6%	17.1%	7.1%	19.0%	14.5%	12.5%	12.1%
7	0.0%	8.6%	9.5%	7.1%	7.3%	8.3%	12.1%
8	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	5.5%	12.5%	0.0%
9	5.6%	2.9%	4.8%	4.8%	1.8%	2.1%	0.0%
10	0.0%	0.0%	4.8%	7.1%	3.6%	4.2%	6.1%
11	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13	0.0%	2.9%	4.8%	2.4%	5.5%	0.0%	9.1%

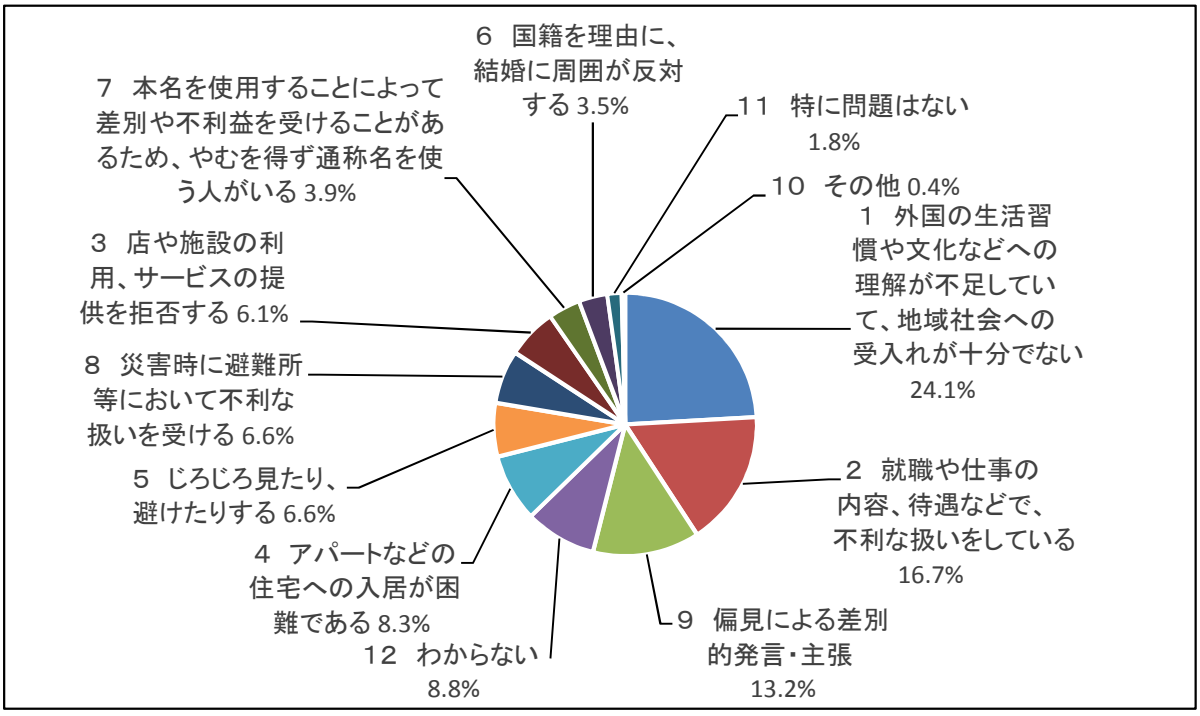
「問１７　障がいのある人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　障がいのある人への理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」 が 18.1% と最も多く、次いで「６　建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」 が 17.3% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　障がいのある人に対する日常生活への合理的配慮を充実する」（男性：16.0%、女性：9.8%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　障がいのある人が仕事に就く場所や機会をつくる」（男性：13.0%、女性：19.7%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　障がいのある人への理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」が多数となっている。一方、「２　障がいのある人に対する日常生活への合理的配慮を充実する」「３　障がいのある人が仕事に就く場所や機会をつくる」「５ユニバーサルデザイン（誰もが利用できるものと言う意味）を採り入れた社会環境の整備を進める」「６　建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

（６）外国人の人権

問１８　外国人に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　外国の生活習慣や文化などへの理解が不足していて、地域社会への受入れが十分でない	23.7%	23.5%
２　就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いをしている	15.8%	16.3%
３　店や施設の利用、サービスの提供を拒否する	9.2%	4.6%
４　アパートなどの住宅への入居が困難である	6.6%	9.8%
５　じろじろ見たり、避けたりする	6.6%	6.5%
６　国籍を理由に、結婚に周囲が反対する	6.6%	2.6%
７　本名を使用することによって差別や不利益を受けることがあるため、やむを得ず通称名を使う人がいる	2.6%	3.9%
８　災害時に避難所等において不利な扱いを受ける	2.6%	8.5%
９　偏見による差別的発言・主張	7.9%	15.0%
１０　その他	2.6%	0.0%
１１　特に問題はない	5.3%	1.3%
１２　わからない	10.5%	7.8%

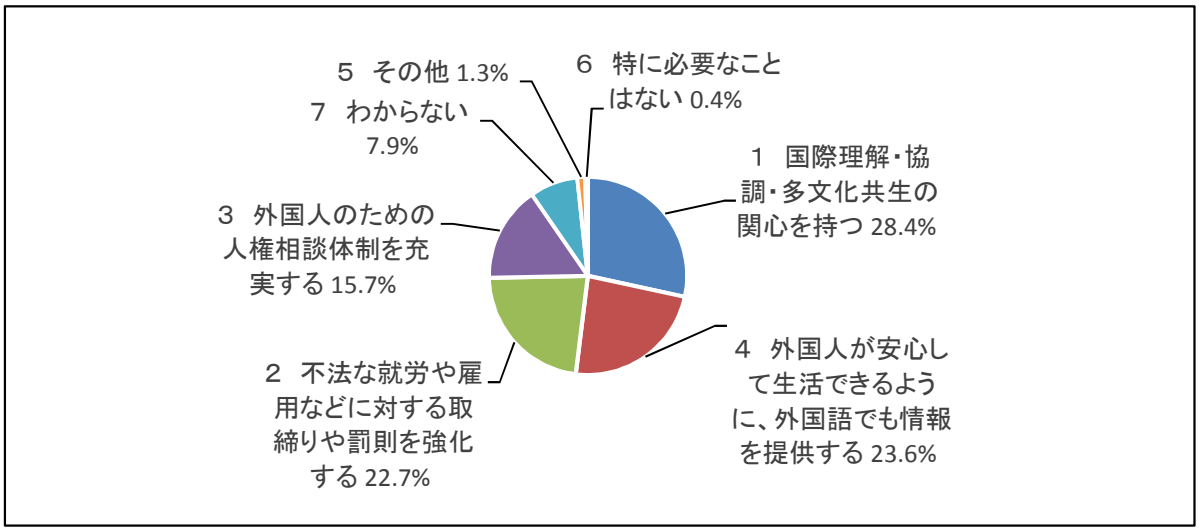
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	23.5%	20.0%	16.2%	30.2%	33.3%	20.0%	14.8%
2	17.6%	10.0%	16.2%	16.3%	24.4%	10.0%	14.8%
3	17.6%	6.7%	8.1%	4.7%	6.7%	0.0%	3.7%
4	5.9%	23.3%	10.8%	4.7%	6.7%	6.7%	3.7%
5	5.9%	0.0%	8.1%	9.3%	4.4%	6.7%	11.1%
6	5.9%	0.0%	2.7%	7.0%	2.2%	3.3%	7.4%
7	0.0%	6.7%	0.0%	7.0%	4.4%	0.0%	3.7%
8	5.9%	10.0%	10.8%	4.7%	0.0%	10.0%	7.4%
9	17.6%	13.3%	13.5%	11.6%	8.9%	16.7%	11.1%
10	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
11	0.0%	3.3%	5.4%	0.0%	0.0%	6.7%	3.7%
12	0.0%	3.3%	8.1%	4.7%	8.9%	20.0%	14.8%

「問１８　外国人に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　外国の生活習慣や文化などへの理解が不足していて、地域社会への受入れが十分でない」 が 24.1% と最も多く、次いで「２　就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いをしている」 が 16.7% となっている。

性別でみると、女性より男性の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　店や施設の利用、サービスの提供を拒否する」（男性：9.2%、女性：4.6%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「９　偏見による差別的発言・主張」（男性：7.9%、女性：15.0%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　外国の生活習慣や文化などへの理解が不足していて、地域社会への受入れが十分でない」「２　就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いをしている」が多数となっている。一方、「９　偏見による差別的発言・主張」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

問１９　外国人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）（単位：%）



選択肢	男	女
１　国際理解・協調・多文化共生の関心を持つ	29.1%	27.8%
２　不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する	22.8%	21.2%
３　外国人のための人権相談体制を充実する	17.7%	14.6%
４　外国人が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する	15.2%	27.2%
５　その他	2.5%	1.3%
６　特に必要なことはない	2.5%	0.7%
７　わからない	10.1%	7.3%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	29.4%	31.0%	25.7%	34.3%	27.1%	33.3%	16.7%
2	17.6%	17.2%	25.7%	25.7%	18.8%	19.4%	26.7%
3	17.6%	13.8%	11.4%	8.6%	16.7%	19.4%	23.3%
4	35.3%	27.6%	17.1%	22.9%	25.0%	19.4%	20.0%
5	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	3.3%
6	0.0%	3.4%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	0.0%	3.4%	14.3%	8.6%	8.3%	8.3%	10.0%

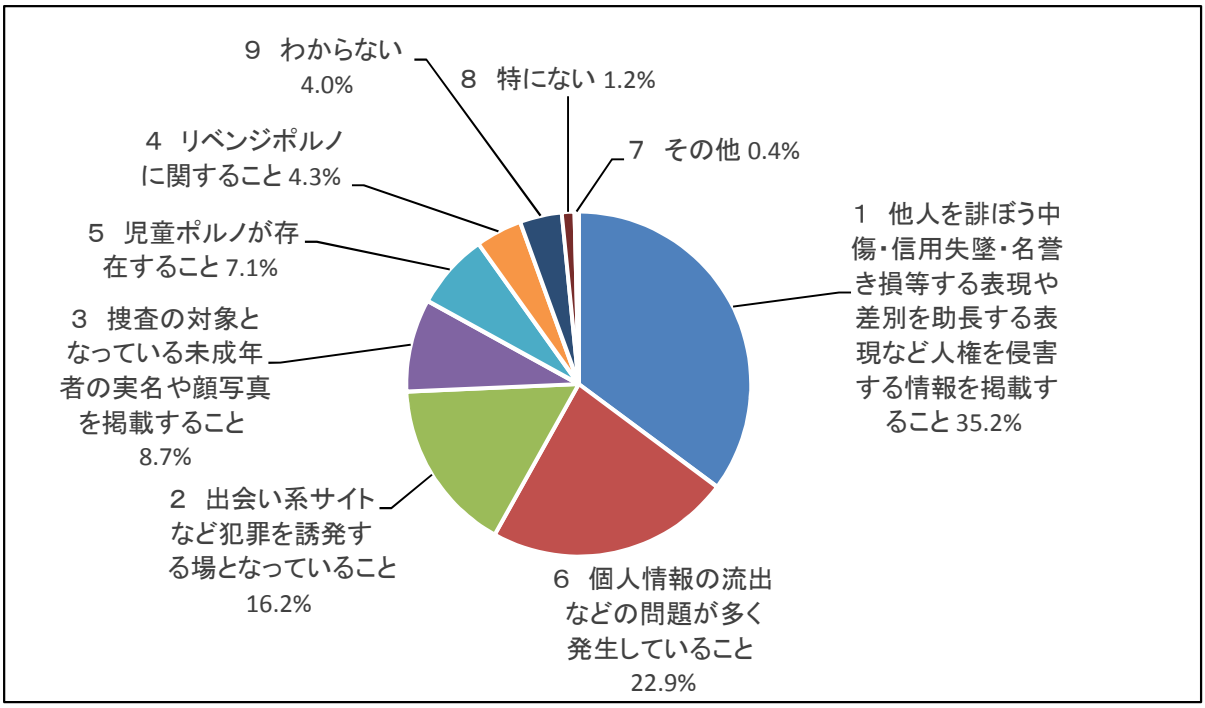
「問１９　外国人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　国際理解・協調・多文化共生の関心を深める」 が 28.4% と最も多く、次いで「４　外国人が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する」 が 23.6% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　外国人のための人権相談体制を充実する」（男性：17.7%、女性：14.6%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　外国人が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する」（男性：15.2%、女性：27.2%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　国際理解・国際協調・多文化共生の関心を深める」「２　不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する」「４　外国人が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する」が多数となっている。一方、「３　外国人のための人権相談体制を充実する」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

（7）インターネットによる人権侵害

問２０　インターネットを悪用した人権侵害で、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）（単位：%）



選択肢	男	女
1　他人を誹謗中傷・信用失墜・名誉き損等する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること	37.3%	33.7%
2　出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	15.7%	16.0%
3　捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	12.0%	7.1%
4　リベンジポルノに関すること	2.4%	5.3%
5　児童ポルノが存在すること	3.6%	8.3%
6　個人情報の流出などの問題が多く発生していること	16.9%	25.4%
7　その他	2.4%	0.6%
8　特にない	1.2%	1.2%
9　わからない	8.4%	2.4%

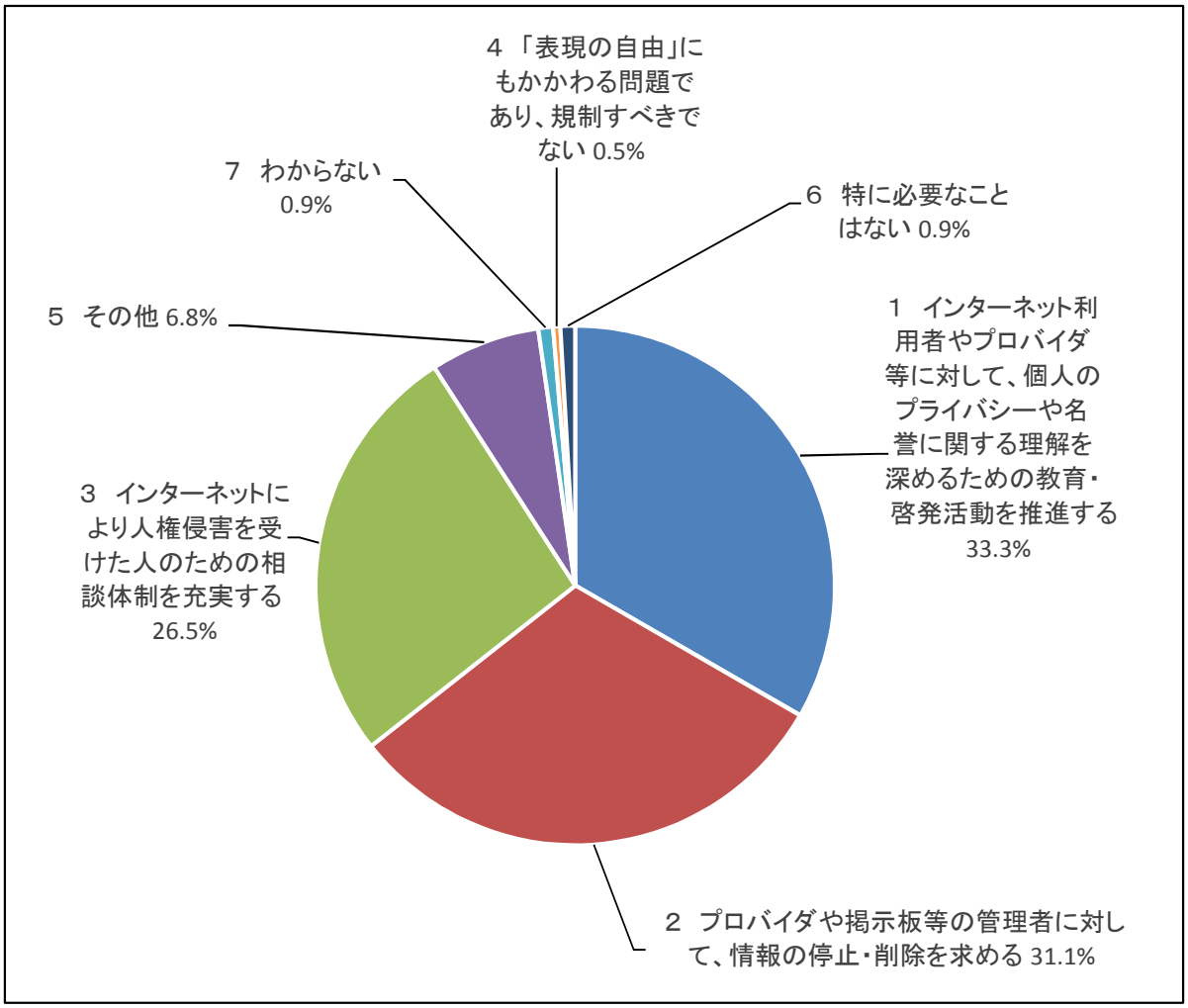
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	43.8%	30.3%	32.5%	38.6%	37.3%	38.9%	25.0%
2	12.5%	15.2%	12.5%	6.8%	19.6%	16.7%	28.1%
3	6.3%	12.1%	7.5%	11.4%	9.8%	8.3%	3.1%
4	0.0%	9.1%	7.5%	0.0%	5.9%	5.6%	0.0%
5	6.3%	9.1%	12.5%	6.8%	2.0%	2.8%	9.4%
6	31.3%	15.2%	17.5%	34.1%	21.6%	19.4%	21.9%
7	0.0%	3.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	0.0%	3.0%	2.5%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%
9	0.0%	3.0%	2.5%	2.3%	3.9%	5.6%	12.5%

「問２０　インターネットを悪用した人権侵害で、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　他人を誹ぼう中傷・信用失墜・名誉き損等する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること」 が 35.2% と最も多く、次いで「６　個人情報の流出などの問題が多く発生していること」 が 22.9% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「９　わからない」（男性：8.4%、女性：2.4%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「６　個人情報の流出などの問題が多く発生していること」（男性：16.9%、女性：25.4%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　他人を誹ぼう中傷・信用失墜・名誉き損等する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること」「６　個人情報の流出などの問題が多く発生していること」が多数となっている。一方、「２　出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

問２１　インターネットを悪用した人権侵害の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）（単位：％）



選択肢	男	女
１　インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	28.4%	34.5%
２　プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める	29.7%	32.4%
３　インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	27.0%	25.5%
４　「表現の自由にもかかわる問題であり、規制すべきでない	0.0%	1.4%
５　その他	0.0%	0.7%
６　特に必要なことはない	4.1%	0.7%
７　わからない	10.8%	4.8%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	37.5%	34.8%	31.3%	34.2%	30.4%	34.3%	27.6%
2	31.3%	34.8%	34.4%	28.9%	39.1%	28.6%	20.7%
3	31.3%	17.4%	21.9%	28.9%	23.9%	25.7%	34.5%
4	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.2%	0.0%	0.0%
5	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	0.0%	8.7%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	0.0%	4.3%	3.1%	5.3%	4.3%	11.4%	17.2%

「問２１　インターネットを悪用した人権侵害の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）」については、「１　インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」 が 33.3% と最も多く、次いで「２　プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める」 が 31.1% となっている。

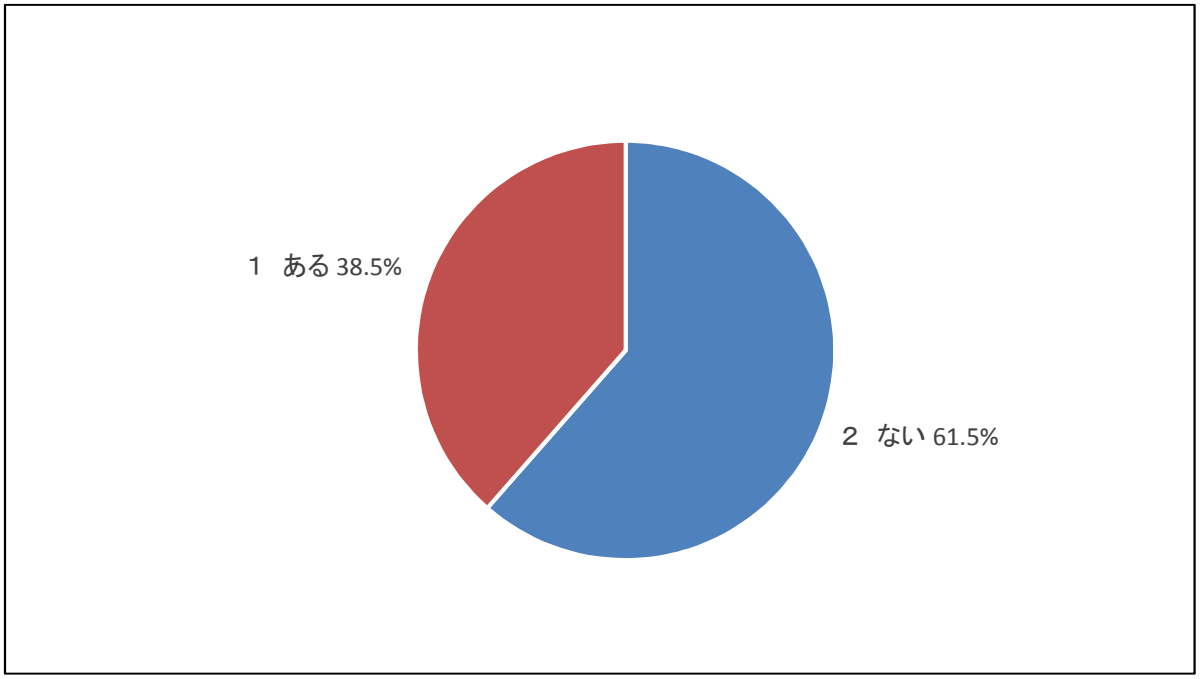
性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「７　わからない」（男性：10.8%、女性：4.8%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」（男性：28.4%、女性：34.5%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」「２　プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める」「３　インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」が多数となっている。

５　人権尊重社会実現への取組

（１）講演会・研修会に関する意識

問２２　人権に関する講演会などへ参加したことがありますか。（単位：%）



選択肢	男	女
1　ある	28.2%	45.6%
2　ない	71.8%	54.4%

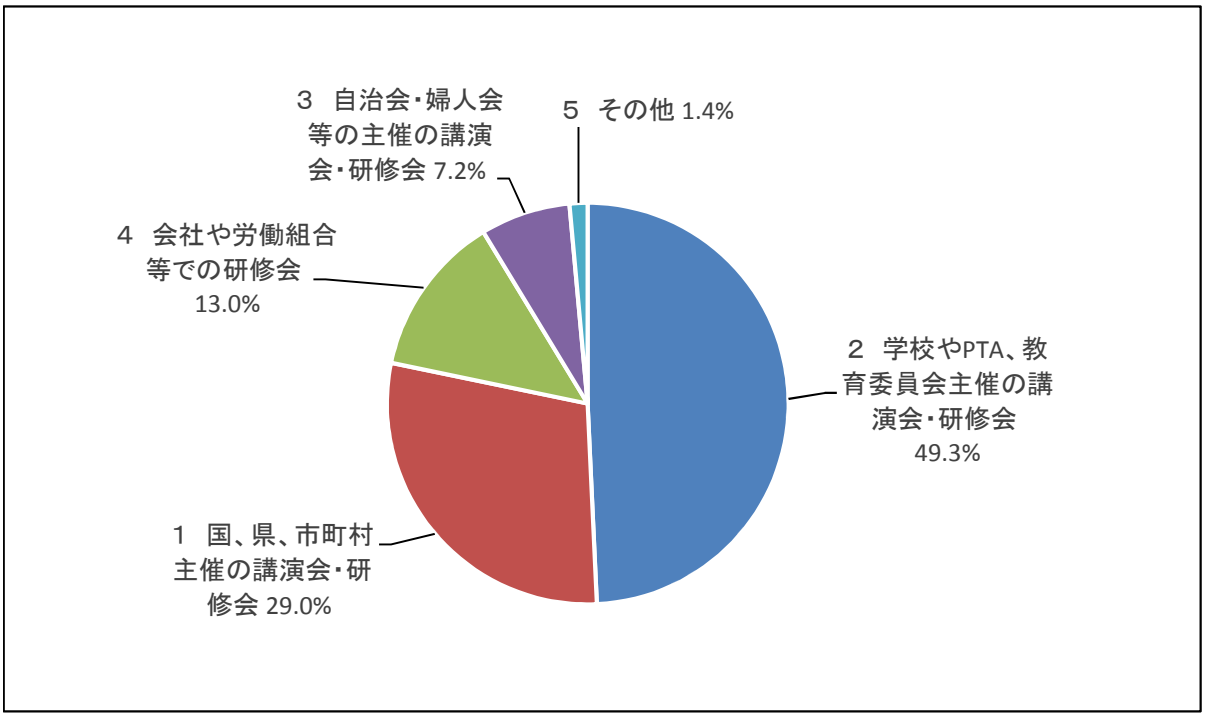
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	83.3%	41.7%	43.8%	35.3%	30.0%	50.0%	14.3%
2	16.7%	58.3%	56.3%	64.7%	70.0%	50.0%	85.7%

「問２２　人権に関する講演会などへ参加したことがありますか。」については、「２ ない」 が 61.5% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　ない」（男性：71.8%、女性：54.4%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　ある」（男性：28.2%、女性：45.6%）となっている。

年齢別にみると、26歳以上で、「２　ない」が半数以上となっている。一方、16歳-25歳では、「１　ある」が 83.3%となっている。

問２２－１　人権に関する講演会などへ参加したことがある人にお尋ねします。参加した講演会等はどちらの主催のものでしたか。（○はいくつでも）（単位：％）



選択肢	男	女
1　国、県、市町村主催の講演会・研修会	35.0%	26.0%
2　学校やＰＴＡ、教育委員会主催の講演会・研修会	50.0%	50.0%
3　自治会・婦人会等の主催の講演会・研修会	0.0%	10.0%
4　会社や労働組合等での研修会	15.0%	12.0%
5　その他	0.0%	2.0%

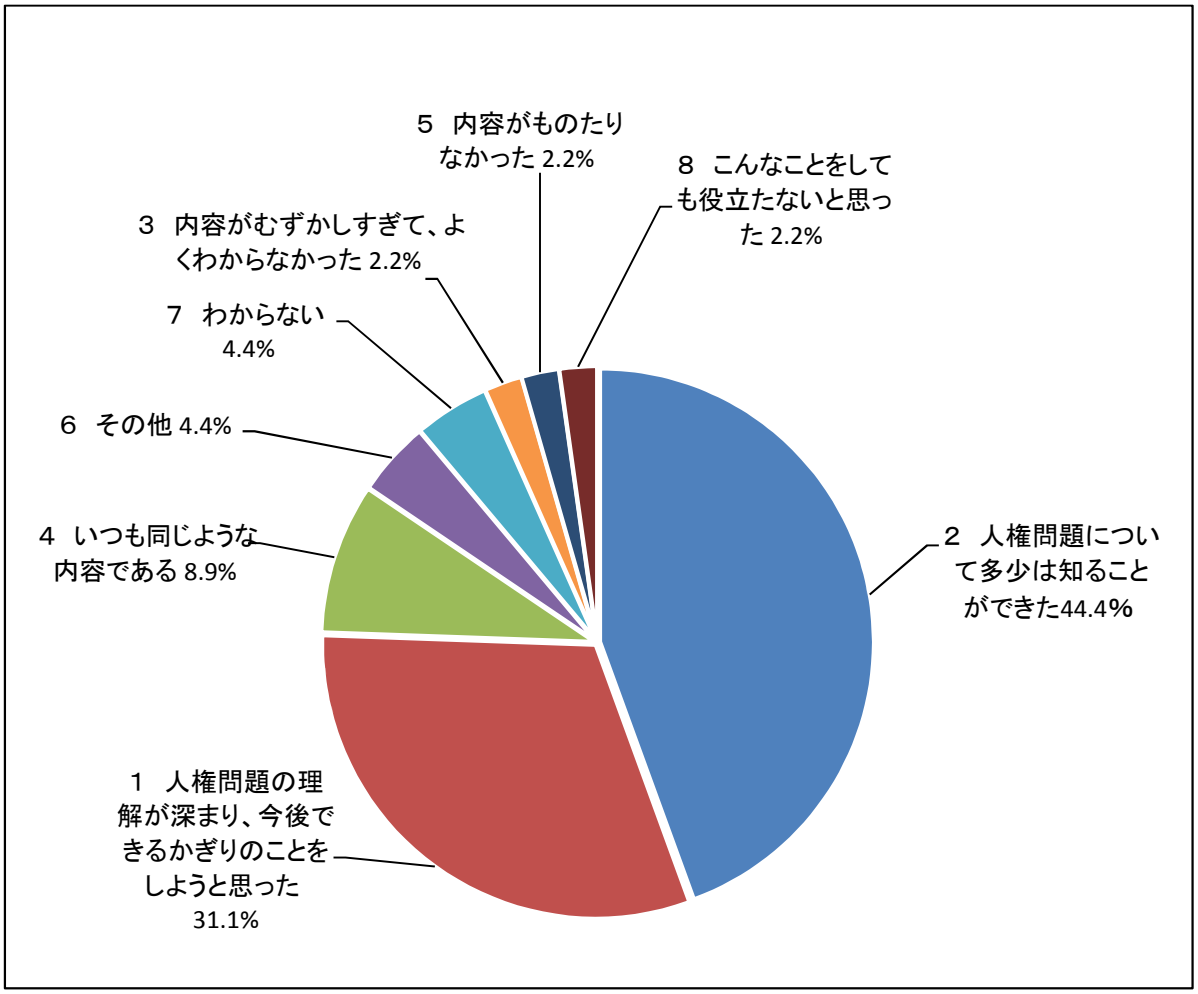
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	33.3%	33.3%	18.2%	37.5%	31.3%	33.3%
2	100.0%	50.0%	50.0%	54.5%	25.0%	56.3%	33.3%
3	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	6.3%	12.5%	33.3%
4	0.0%	16.7%	0.0%	27.3%	31.3%	0.0%	0.0%
5	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「問２２－１　人権に関する講演会などへ参加したことがある人にお尋ねします。参加した講演会等はどちらの主催のものでしたか。（○はいくつでも）」については、「2 学校やＰＴＡ、教育委員会主催の講演会・研修会」 が 49.3% と最も多く、次いで「1 国、県、市町村主催の講演会・研修会」 が 29.0% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　国、県、市町村主催の講演会・研修会」（男性：35.0%、女性：26.0%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　自治会・婦人会等の主催の講演会・研修会」（男性：0.0%、女性：10.0%）となっている。

年齢別にみると、「１　国、県、市町村主催の講演会・研修会」「２　学校やＰＴＡ、教育委員会主催の講演会・研修会」が、年齢ごとにばらつきはあるが、 多数となっている。

問２２－２　人権に関する講演会などへ参加したことがある人にお尋ねします。講演会等に参加して、どう思いましたか。（○はいくつでも）（単位：%）



選択肢	男	女
1　人権問題の理解が深まり、今後できるかぎりのことをしようと思った	15.4%	35.3%
2　人権問題について多少は知ることができた	69.2%	38.2%
3　内容がむずかしすぎて、よくわからなかった	0.0%	2.9%
4　いつも同じような内容である	15.4%	5.9%
5　内容がものたりなかった	0.0%	2.9%
6　その他	0.0%	5.9%
7　わからない	0.0%	5.9%
8　こんなことをしても役立たないと思った	0.0%	2.9%

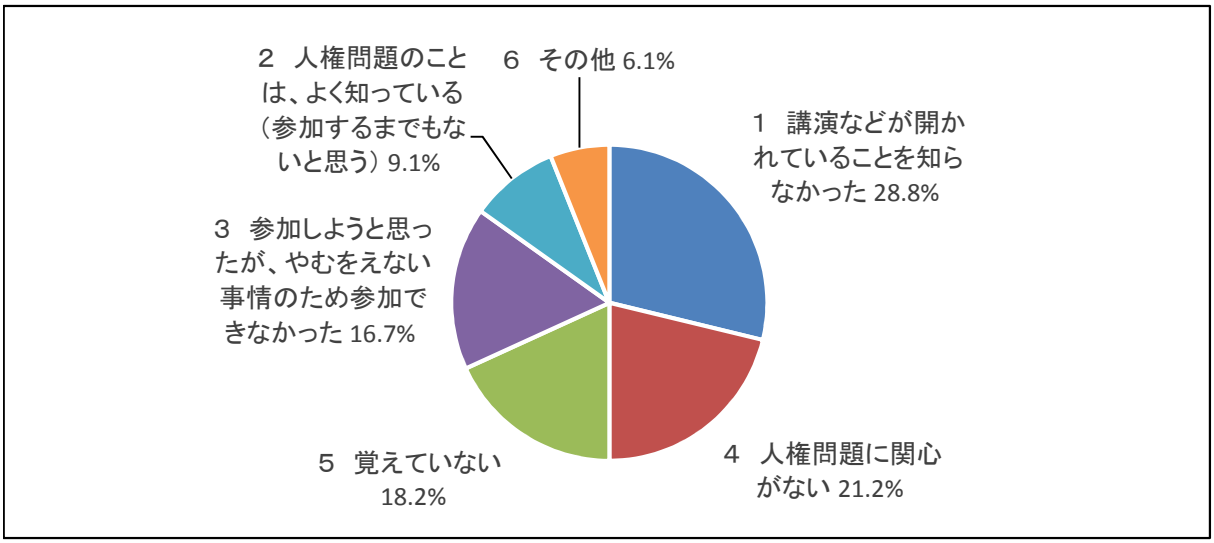
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	33.3%	20.0%	33.3%	42.9%	66.7%	9.1%	0.0%
2	50.0%	60.0%	11.1%	57.1%	0.0%	81.8%	66.7%
3	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	16.7%	9.1%	0.0%
5	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
7	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
8	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「問２２－２　人権に関する講演会などへ参加したことがある人にお尋ねします。講演会等に参加して、どう思いましたか。（〇はいくつでも）」については、「２　人権問題について多少は知ることができた」が 44.4%、「１　人権問題の理解が深まり、今後できるかぎりのことをしようと思った」が 31.1% で、これらを合わせると、肯定的回答が 75.5% となっている。一方、「４　いつも同じような内容である」が 8.9%、「３　内容がむずかしすぎて、よくわからなかった」が 2.2%、「５　内容がものたりなかった」が 2.2%、「８　こんなことをしても役立たないと思った」が 2.2% で、これらを合わせると、否定的回答が 15.5% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　人権問題について多少は知ることができた」（男性：69.2%、女性：38.2%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　人権問題の理解が深まり、今後できるかぎりのことをしようと思った」（男性：15.4%、女性：35.3%）となっている。

年齢別にみると、「１　人権問題の理解が深まり、今後できるかぎりのことをしようと思った」「２　人権問題について多少は知ることができた」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。一方、「３　内容がむずかしすぎて、よくわからなかった」「５　内容がものたりなかった」「４　いつも同じような内容である」が、各年齢ごとにばらつきがあるが、多数となっている。

問２２－３　人権に関する講演会などへ参加したことがない人にお尋ねします。どのような理由から参加しませんでしたか。（○は１つだけ）（単位：%）



選択肢	男	女
１　講演などが開かれていることを知らなかった	20.0%	35.1%
２　人権問題のことは、よく知っている（参加するまでもないと思う）	16.7%	2.7%
３　参加しようと思ったが、やむをえない事情のため参加できなかった	10.0%	21.6%
４　人権問題に関心がない	30.0%	13.5%
５　覚えていない	16.7%	18.9%
６　その他	6.7%	8.1%

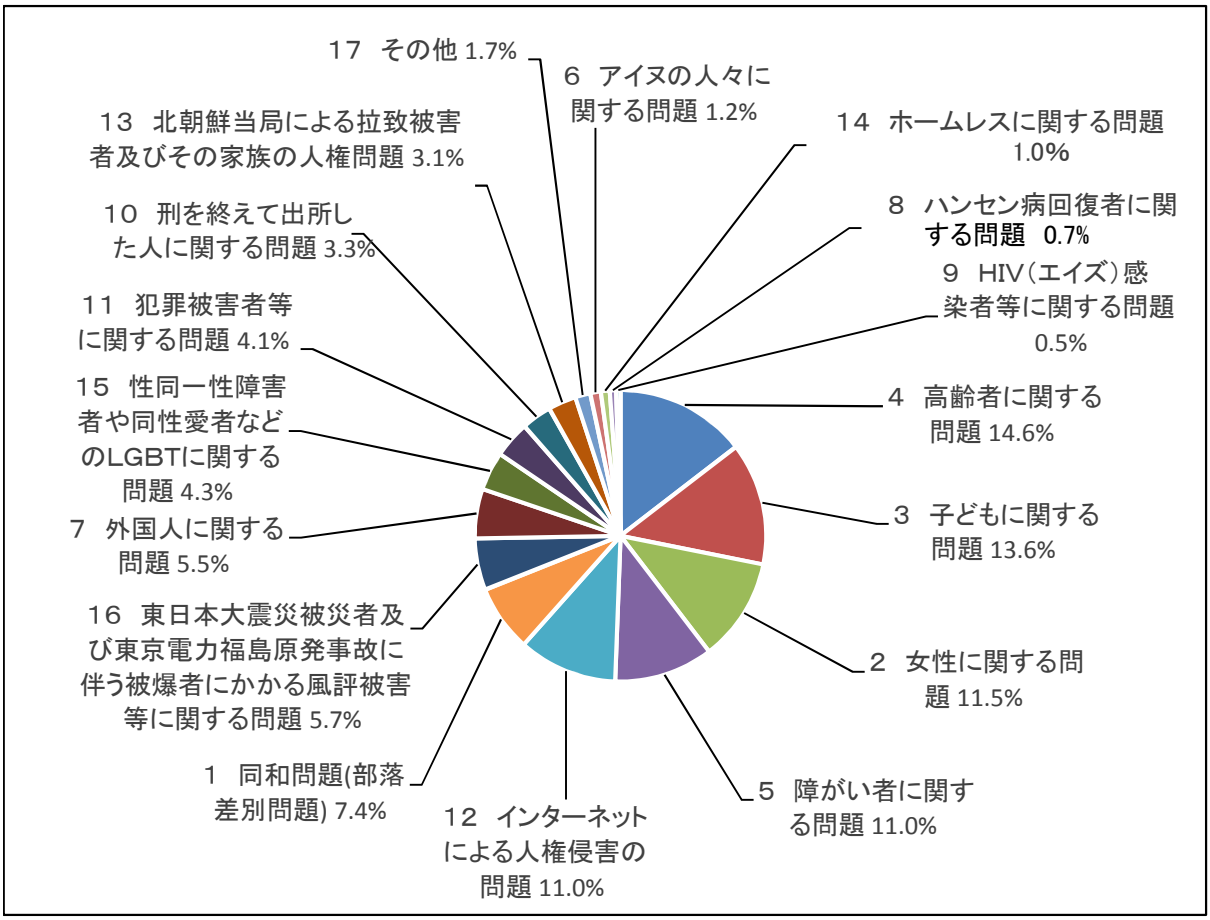
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	37.5%	40.0%	36.4%	28.6%	0.0%	33.3%
2	0.0%	0.0%	20.0%	18.2%	7.1%	0.0%	8.3%
3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	30.0%	25.0%
4	50.0%	25.0%	20.0%	27.3%	14.3%	10.0%	25.0%
5	50.0%	37.5%	10.0%	9.1%	7.1%	40.0%	8.3%
6	0.0%	0.0%	10.0%	9.1%	7.1%	20.0%	0.0%

「問２２－３　人権に関する講演会などへ参加したことがない人にお尋ねします。どのような理由から参加しませんでしたか。（○は１つだけ）」については、「１　講演などが開かれていることを知らなかった」 が 28.8% と最も多く、次いで「４　人権問題に関心がない」 が 21.2% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　人権問題に関心がない」（男性：30.0%、女性：13.5%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　講演などが開かれていることを知らなかった」（男性：20.0%、女性：35.1%）となっている。

年齢別にみると、16歳-55歳および76歳以上では、「１　講演などが開かれていることを知らなかった」「４　人権問題に関心がない」が半数以上となっている。一方、56歳-75歳では、「３　参加しようと思ったが、やむをえない事情のため参加できなかった」が、最多数となっている。（「５　覚えていない」除く。）

問２２－４　今後どのような人権課題に関する内容ならば参加したいと思いますか。（○を５つつけてください。）（単位：％）



選択肢	男	女
１　同和問題（部落差別問題）	10.6%	5.4%
２　女性に関する問題	8.8%	13.1%
３　子どもに関する問題	13.8%	13.5%
４　高齢者に関する問題	16.3%	13.5%
５　障がい者に関する問題	11.9%	10.4%
６　アイヌの人々に関する問題	1.3%	1.2%
７　外国人に関する問題	8.1%	3.9%
８　ハンセン病回復者に関する問題	0.6%	0.8%
９　ＨＩＶ（エイズ）感染者等に関する問題	0.6%	0.4%
１０　刑を終えて出所した人に関する問題	4.4%	2.7%
１１　犯罪被害者等に関する問題	3.1%	4.6%
１２　インターネットによる人権侵害の問題	8.1%	12.7%
１３　北朝鮮当局による拉致被害者及びその家族の人権問題	3.1%	3.1%
１４　ホームレスに関する問題	1.3%	0.8%
１５　性同一性障害者や同性愛者などのＬＧＢＴに関する問題	3.1%	5.0%
１６　東日本大震災被災者及び東京電力福島原発事故に伴う被爆者にかかる風評被害等に関する問題	3.8%	6.9%
１７　その他	1.3%	1.9%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	6.3%	7.5%	10.5%	5.4%	7.8%	6.7%	7.8%
2	12.5%	11.3%	12.3%	13.5%	10.4%	10.7%	9.8%
3	12.5%	11.3%	17.5%	14.9%	13.0%	16.0%	7.8%
4	12.5%	9.4%	8.8%	12.2%	16.9%	22.7%	15.7%
5	18.8%	7.5%	10.5%	8.1%	10.4%	12.0%	13.7%
6	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	3.9%
7	9.4%	5.7%	5.3%	6.8%	2.6%	4.0%	7.8%
8	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	2.0%
9	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
10	6.3%	3.8%	0.0%	2.7%	3.9%	2.7%	5.9%
11	0.0%	5.7%	3.5%	6.8%	2.6%	4.0%	3.9%
12	9.4%	11.3%	15.8%	16.2%	10.4%	9.3%	2.0%
13	3.1%	1.9%	1.8%	1.4%	2.6%	5.3%	5.9%
14	0.0%	3.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	2.0%
15	3.1%	7.5%	7.0%	6.8%	3.9%	1.3%	0.0%
16	3.1%	9.4%	1.8%	2.7%	9.1%	4.0%	9.8%
17	0.0%	0.0%	5.3%	1.4%	2.6%	0.0%	2.0%

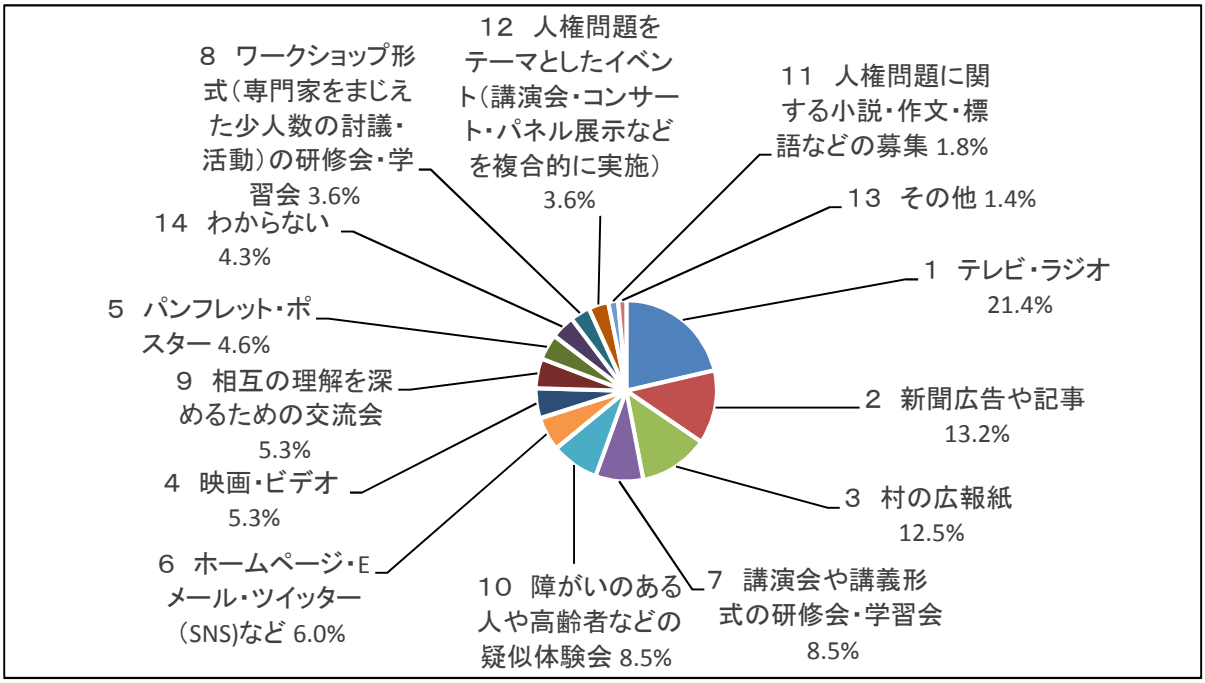
「問２２－４　　今後どのような人権課題に関する内容ならば参加したいと思いますか。（○を５つつけてください。）」については、「４　高齢者に関する問題」が 14.6% 、「３　子どもに関する問題」が 13.6% 、「２　女性に関する問題」が 11.5% 、「５　障がい者に関する問題」が 11.0% 、「１２　インターネットによる人権侵害の問題」が 11.0% で、これらを合わせると、社会的弱者と呼ばれる立場の方の人権課題についての内容であれば参加したいとする人が、 61.7% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　同和問題　（部落差別問題）」（男性：10.6%、女性：5.4%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１２　インターネットによる人権侵害の問題」（男性：8.1%、女性：12.7%）となっている。

年齢別にみると、「２　女性に関する問題」「３　子どもに関する問題」「４　高齢者に関する問題」「５　障がい者に関する問題」「１２　インターネットによる人権侵害の問題」が、各年齢ごとにばらつきはあるが、多数となっている。

（２）効果的な人権啓発広報活動

問２３　あなたは、人権尊重の社会を実現するために、どのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。（○はいくつでも）（単位：％）



選択肢	男	女
１　テレビ・ラジオ	28.0%	17.7%
２　新聞広告や記事	14.0%	12.7%
３　村の広報紙	11.0%	13.3%
４　映画・ビデオ	6.0%	5.0%
５　パンフレット・ポスター	2.0%	6.1%
６　ホームページ・Ｅメール・ツイッター（ＳＮＳ）など	4.0%	7.2%
７　講演会や講義形式の研修会・学習会	10.0%	7.7%
８　ワークショップ形式（専門家をまじえた少人数の討議・活動）の研修会・学習会	2.0%	4.4%
９　相互の理解を深めるための交流会	9.0%	3.3%
１０　障がいのある人や高齢者などの疑似（ぎじ）体験会	8.0%	8.8%
１１　人権問題に関する小説・作文・標語などの募集	2.0%	1.7%
１２　人権問題をテーマとしたイベント（講演会・コンサート・パネル展示などを複合的に実施）	1.0%	5.0%
１３　その他	0.0%	2.2%
１４　わからない	3.0%	5.0%

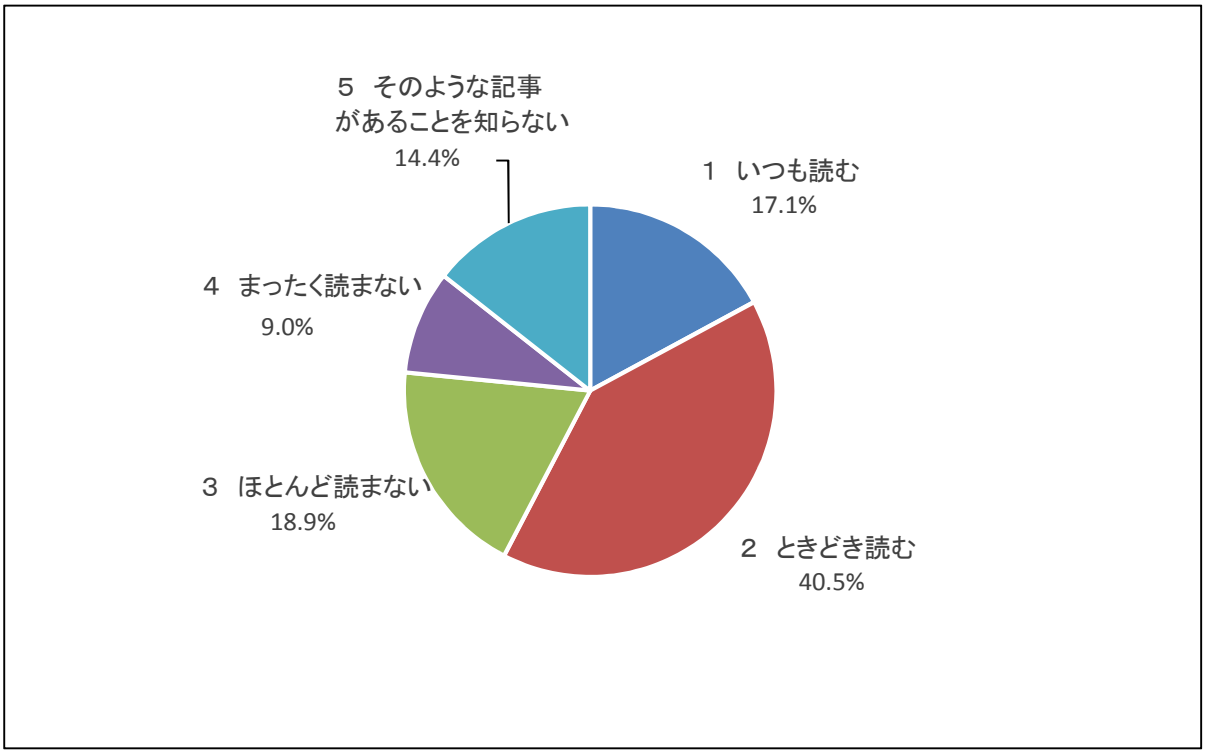
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	27.3%	14.7%	12.5%	26.1%	25.5%	23.5%	18.9%
2	22.7%	8.8%	10.0%	15.2%	13.7%	11.8%	13.5%
3	9.1%	5.9%	10.0%	4.3%	11.8%	19.6%	24.3%
4	18.2%	5.9%	2.5%	6.5%	5.9%	3.9%	0.0%
5	0.0%	2.9%	10.0%	2.2%	5.9%	3.9%	5.4%
6	9.1%	14.7%	5.0%	10.9%	3.9%	2.0%	0.0%
7	0.0%	8.8%	15.0%	4.3%	9.8%	9.8%	8.1%
8	9.1%	5.9%	0.0%	4.3%	5.9%	0.0%	2.7%
9	0.0%	8.8%	7.5%	2.2%	3.9%	7.8%	5.4%
10	4.5%	20.6%	5.0%	8.7%	2.0%	9.8%	10.8%
11	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.0%	3.9%	2.7%
12	0.0%	2.9%	7.5%	4.3%	2.0%	3.9%	2.7%
13	0.0%	0.0%	2.5%	4.3%	2.0%	0.0%	0.0%
14	0.0%	0.0%	12.5%	4.3%	5.9%	0.0%	5.4%

「問２３　あなたは、人権尊重の社会を実現するために、どのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。（○はいくつでも）」については、「１　テレビ・ラジオ」が 21.４% と最も多く、次いで「２　新聞広告や記事」 が 13.2% 、「３　村の広報紙」が 12.5% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　テレビ・ラジオ」（男性：28.0%、女性：17.7%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「５　パンフレット・ポスター」（男性：2.0%、女性：6.1%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「１　テレビ・ラジオ」が多数となっている。一方、「２新聞広告や記事」「３　村の広報紙」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

問２４　佐那河内村では、広報さなごうちの中で人権教育啓発シリーズを掲載していますが、あなたはどの程度読んでいますか。（○は１つ）（単位：％）



選択肢	男	女
1　いつも読む	16.3%	17.6%
2　ときどき読む	39.5%	41.2%
3　ほとんど読まない	11.6%	23.5%
4　まったく読まない	18.6%	2.9%
5　そのような記事があることを知らない	14.0%	14.7%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	0.0%	7.7%	11.1%	11.8%	33.3%	13.6%	30.8%
2	28.6%	23.1%	33.3%	41.2%	28.6%	72.7%	38.5%
3	28.6%	23.1%	22.2%	29.4%	19.0%	4.5%	15.4%
4	14.3%	15.4%	11.1%	11.8%	4.8%	0.0%	15.4%
5	28.6%	30.8%	22.2%	5.9%	14.3%	9.1%	0.0%

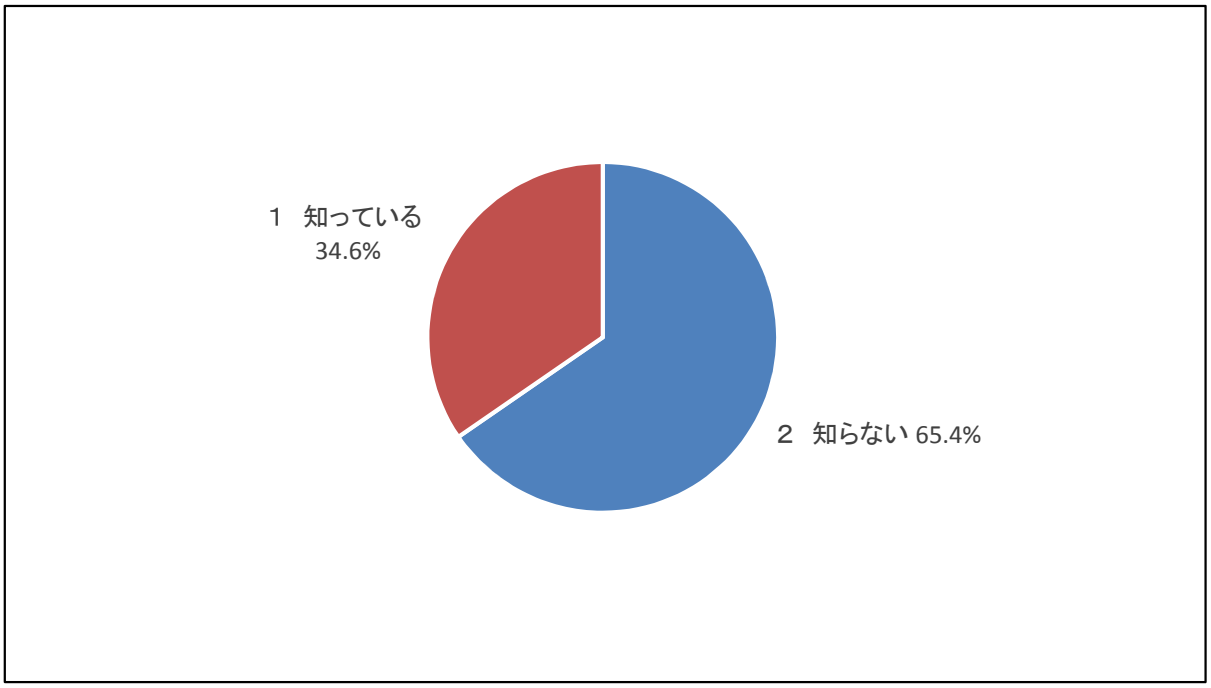
「問２４　佐那河内村では、広報さなごうちの中で人権教育啓発シリーズを掲載していますが、あなたはどの程度読んでいますか。（○は１つ）」については、「２　ときどき読む」が 40.5% 、「１　いつも読む」が 17.1% で、これらを合わせると、定期的に読んでいる人が 57.6% となっている。一方、「３　ほとんど読まない」が 18.9% 、「５　そのような記事があることを知らない」が 14.4% 、「４　まったく読まない」が 9.0% で、これらを合わせると、読んでいない人が 42.3% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　まったく読まない」（男性：18.6%、女性：2.9%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　ほとんど読まない」（男性：11.6%、女性：23.5%）となっている。

年齢別にみると、16歳-45歳では、「３　ほとんど読まない」「４　まったく読まない」「５　そのような記事があることを知らない」が過半数となっている。一方、46歳以上では、「１　いつも読む」「２　ときどき読む」が、過半数となっている。

（３）　人権擁護委員制度の認知度

問２５　人権擁護委員の制度を知っていますか。(単位：%)



選択肢	男	女
1　知っている	37.5%	32.8%
2　知らない	62.5%	67.2%

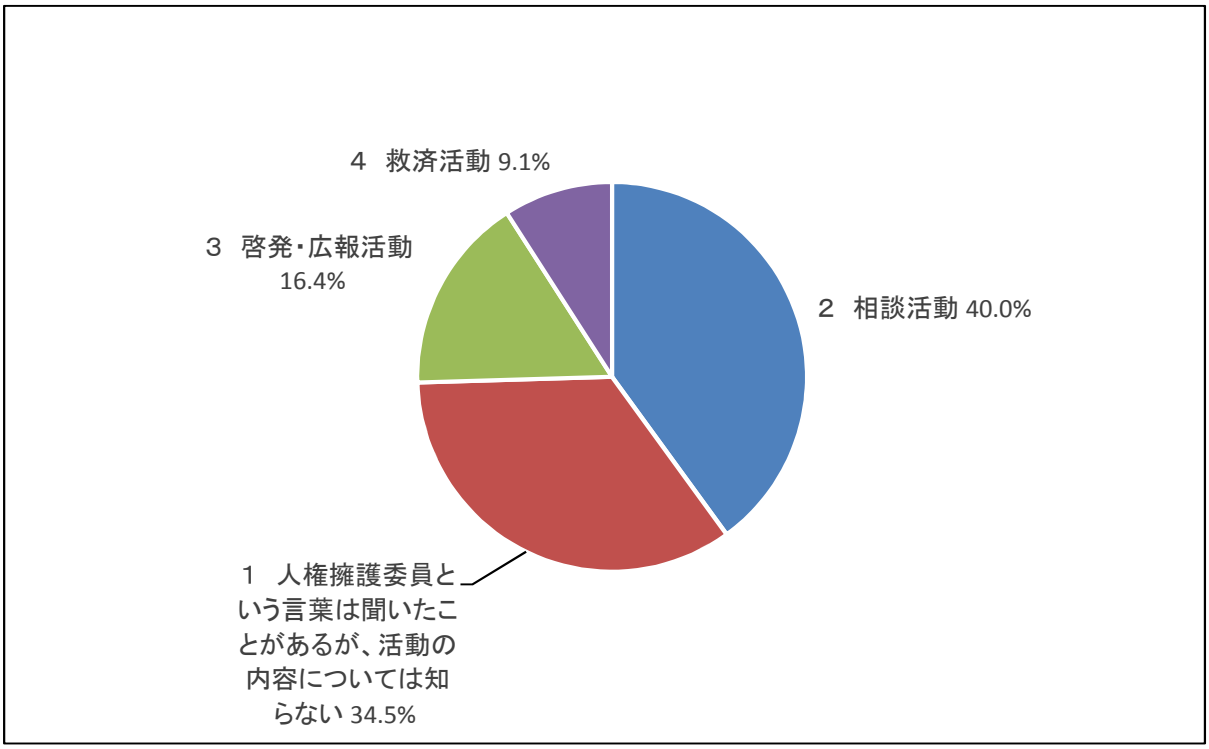
	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	16.7%	38.5%	16.7%	31.3%	40.0%	40.0%	54.5%
2	83.3%	61.5%	83.3%	68.8%	60.0%	60.0%	45.5%

「問２５　あなたは、人権擁護委員の制度を知っていますか。」については、「２　知らない」が 65.4% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　知っている」（男性：37.5%、女性：32.8%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　知らない」（男性：62.5%、女性：67.2%）となっている。

年齢別にみると、全世代で、「２　知らない」がほぼ半数程度以上となっている。一方、76歳以上では、「１　知っている」が、過半数となっている。

問２５－１　人権擁護委員の制度を知っている人にお尋ねします。あなたが知っている人権擁護委員の活動を選んでください。（○はいくつでも）（単位：%）



選択肢	男	女
1　人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない	27.6%	42.3%
2　相談活動（毎月第２月曜日に人権相談を実施している）	34.5%	46.2%
3　啓発・広報活動	24.1%	7.7%
4　救済活動	13.8%	3.8%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	50.0%	60.0%	80.0%	16.7%	30.8%	16.7%	33.3%
2	0.0%	40.0%	20.0%	33.3%	46.2%	58.3%	33.3%
3	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	7.7%	25.0%	25.0%
4	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	15.4%	0.0%	8.3%

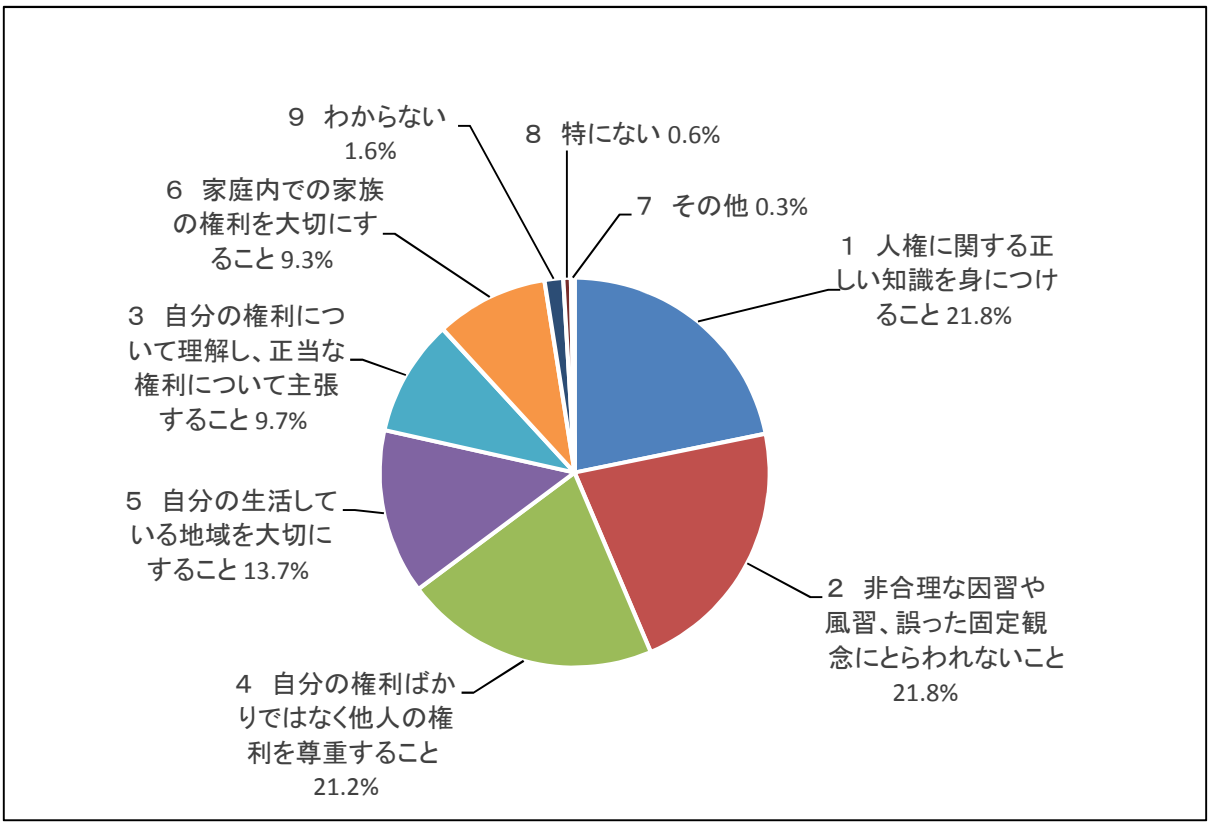
「問２５－１　人権擁護委員の制度を知っている人にお尋ねします。あなたが知っている人権擁護委員の活動を選んでください。（○はいくつでも）」については、「２　相談活動（毎月第２月曜日に人権相談を実施している）」が 40.0% となっている。一方、「１　人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない」が 34.5% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「３　啓発・広報活動」（男性：24.1%、女性：7.7%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「１　人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない」（男性：27.6%、女性：42.3%）となっている。

年齢別にみると、「１　人権擁護委員という言葉は聞いたことがあるが、活動の内容については知らない」「２　相談活動（毎月第２月曜日に人権相談を実施している）」については、年齢ごとにばらつきはあるが、 割合が高くなる傾向がある。

（４）心がけるべき行動

問２６　人権尊重の社会を実現するには、村民一人ひとりが、どのようなことを心がけて行動すべきだと思いますか。（○はいくつでも）（単位：％）



選択肢	男	女
１　人権に関する正しい知識を身につけること	23.1%	21.0%
２　非合理な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと	19.8%	23.0%
３　自分の権利について理解し、正当な権利について主張すること	11.6%	8.5%
４　自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること	23.1%	20.0%
５　自分の生活している地域を大切にすること	14.0%	13.5%
６　家庭内での家族の権利を大切にすること	7.4%	10.5%
７　その他	0.0%	0.5%
８　特にない	0.0%	1.0%
９　わからない	0.8%	2.0%

	16-25歳	26-35歳	36-45歳	46-55歳	56-65歳	66-75歳	76歳以上
1	28.6%	19.5%	15.9%	24.5%	23.3%	23.2%	19.6%
2	19.0%	22.0%	22.7%	22.6%	21.7%	25.0%	17.4%
3	9.5%	9.8%	11.4%	7.5%	6.7%	10.7%	13.0%
4	23.8%	24.4%	18.2%	20.8%	18.3%	21.4%	23.9%
5	14.3%	14.6%	15.9%	13.2%	10.0%	12.5%	17.4%
6	4.8%	9.8%	9.1%	11.3%	11.7%	7.1%	8.7%
7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
8	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
9	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%

「問２６　人権尊重の社会を実現するには、村民一人ひとりが、どのようなことを心がけて行動すべきだと思いますか。（○はいくつでも）」については、「１　人権に関する正しい知識を身につけること」が 21.8% 、「２　非合理な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと」が 21.8% と最も多く、次いで「４　自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること」が 21.2% となっている。

性別でみると、女性より男性の割合の方が高く、差が一番大きい選択肢は、「４　自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること」（男性：23.1%、女性：20.0%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい選択肢は、「２　非合理な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと」（男性：19.8%、女性：23.0%）となっている。

年齢別にみると、「１　人権に関する正しい知識を身につけること」「２　非合理な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないこと」「４　自分の権利ばかりではなく他人の権利を尊重すること」「５　自分の生活している地域を大切にすること」が、多数となっている。

６　人権問題に関する自由意見　※　原文のままで掲載しています。

〇村では3人の方が人権委員でおられるとのことですが、相談の内容を具体的に説明して、こういうことで悩んでいます、という例を挙げて、気楽に相談に応じてもらえたらと思います。

〇人権問題を主張している人が面倒くさい。

〇最近の親子さんは「自分の子に限って」が多くありませんか？
学校で何かあればすぐ教育委員会、もう少し先生との話し合いも必要ではないのでしょうか？
佐那河内は生徒も少ないのですから、もう少し話し合い自分の子供のことを家の内と家の外との違いも理解するのも人権問題につながるのでは。

〇自分が言われて嫌なことは人には言わない！一人一人が守れば社会が良くなる！

〇設問を読むだけでも大分勉強になりました。差別で問題になっているポイントがよく分かりました。
選ばないといけないのでじっくり考えたり読み返したりします。
アンケート用に送付された人だけでなく多くの人がやってみたらいいアンケートだと思いました。（集計を目的にしなくても）。

〇設問6について
憲法に触れる行為です。行うべきでないという選択肢を設けるべきです。

〇設問7,8について
「同和地区」は同対法に基づく指定であり、もうこういう地区は存在しないのではないですか？
この設問自体が差別があることを前提にしており今日的に行うべきアンケートではない。
不適切な設問です。こういう調査はやめるべきです。

〇設問9について
実態的差別はなくなってきており同和行政、同和教育をすること自身が逆差別を生むことになる段階にきていることを理解して対応すべき。

参考資料（同和問題）について
大きく解消に向かっています。資料は、不正解。だから同対法を廃止したのでしょ！
こういう資料を付けたアンケートはナンセンスです。
個人の権限を守ることは憲法が政府・自治体に求めていることだ。権力による人権侵害が最も重要だ。
そのことを自覚して、行政は対応すべきだ。
この調査は同和問題にバイアスがかかるものになっています。
これ自身が人権にとって重大ではないですか？
調査で述べられない意見を書いておきましたので、
結果公表の時に記載したことをきちんと公表してください。
（赤文字の部分は表紙に書いてありました）

〇今回のアンケートの回答者となり、改めて人権の意識への自分の考えや、行政の取り組み、社会のあり方について考える機会となりました。

〇丸印をつけた問題について出来るだけ啓発してほしい。

〇人権は大切です。身近に反面教師的存在が沢山いるので、より大切さがわかります。
学校での人権問題の講演会は生徒達の身としては眠いだけの２～３時間です。
映画やおもしろい人を呼ぶとか、そしたら「眠いだけの２～３時間」にはならないかと！

○問４-２で、民生委員さんが何もしてくれなかったので、相手に抗議するなど自分で解決した。

○村特有の閉鎖的な慣習の多いこと。小さいころからの教育が大事。

○不確定な情報を流したり、うわさを広めたりすることが、村人全員の人権を侵害していることにつながるような風潮がある。

○私の体験と日頃思うことです。

意見が違うと言うだけで、２名の保護者から陰湿な攻撃を受け、私の持ち物を捨てられ、その上、うちの子に嫌がらせされたことがあり、今でも心の傷を負っています。

このようなことを平気でする事の善悪も分からない人が、ある社会の組織に加わっていますが、その組織からも人権上問題のある言動が目立ちます。

まるで、大人がいじめの手本を子どもに見せているかのようで、このままでは、地域に関わる子どものモラルも歪められ、いじめが増えるのではないかと危惧しています。
このように、人権尊重の理念やモラルの分かってない人が地域で活動していることに疑念を抱いています。

村は今までそのような人を見て見ぬふりをし、そのような振る舞いを許してきたのでしょうか。

地域づくり、地域活性化、横の繋がりは大切なことですが、それ以前の言うに言えない潜在的課題の実態の解決無しに地域課題解消はなしえないと思います。

理不尽によって、このまま村に関わりたくない人が増えれば、村が破綻してしまうのではないかと懸念もあります。

まずは、人権尊重の理念やモラル指導を社会教育構成員に教育し、人権尊重の基盤に立った上で、地域作りを目指していただきたいです。

そして今後は、人権や本質から外れた人が人の上に立つことがないよう、
良識に基づいた正しい行動基準規律も必要だと思います。

これ以上、心の傷を負う子供が増えないよう、よろしくお願いします。

○同和教育は表面的な教育であって、本来なぜ差別されているか貴方も知り得ないと思いますよ。
教育では昔刑場の仕事をしていた。との内容。事実は違います。
日本人では無いということです。
同じ教育をするなら真実の教育をするべきですし、そうすれば同和問題にも光が見えてくるでしょう。

○「人権問題」というふうに日頃は特別に意識していないことが多い気がします。
今回の意識調査であらためて「こういうことが人権問題になっているんだ」と認識させられました。
近年はインターネットの普及により、インターネットを利用した人権侵害が増えてきています。
匿名性を悪用し、とても陰湿な印象を受けます。
これからもこのような新しい形の人権問題が増えていくのでしょうか？
少し不安です。

○日々の生活をしていて、「人権の村」と深く感じたことはない。
むしろ、人権や尊厳を守る意識は低いと感じている。

〇義務教育で不登校の子どもがおり、基礎学力が不足したまま大人となることが本人、社会共に不幸なこと。最低限の基礎学力をつけてやって欲しい。
たとえば「九九」が分からないまま中学を卒業する子どもがいるが、これは教師の質の問題だと思う。

＜佐那河内村人権条例＞

「佐那河内村人権条例」は、「村民の人権擁護と人権意識の高揚を図り、すべての人の基本的人権が尊重される心豊かに安心して暮らせるむらづくりの実現を図る」と定めています。

家庭で、学校で、職場で、地域で、一人一人が人権尊重の学習と実践に努め、誰もが住みやすいむらづくりを進めましょう。

人権に関する村民意識調査

2019（令和元）年８月調査（ダイジェスト版）
発行・企画・編集　佐那河内村（住民税務課）
〒771-4195　名東郡佐那河内村下字中辺７１番地１
TEL：０８８（６７９）２１１４　FAX：０８８（６７９）２１２５
◆本報告書は、下記ホームページにも掲載しています。

佐那河内村　人権　検索　クリック
http://www.vill.sanagochi.lg.jp/